福井大学保健管理センター年報

第３８号

（平成２９年度）

福井大学保健管理センター

２０１８．１１

目　　　次

Ⅰ　業務概要

Ⅱ　学生健康管理状況

Ⅲ 保健管理センター利用状況

Ⅳ 研究・業績報告、資料集

I 業務概要

平成29年度【文京地区】年間主要行事

	文京キャンパス	
時期	業務	対象
4月	入学式救護	入学生
	定期健康診断学生情報取込, 各種機器及び接続の点検, 会場準備	
	定期健康診断	全学年
	〃　　再検	
	〃　　異常者診察及び紹介状	
	〃　　問診項目呼出, 診察	
	〃　　健康調査呼出診察	
	婦人科相談	希望者
5月	定期健康診断　問診項目呼出, 診察	最終学年
	〃　　健康調査呼出診察	
	定期健康診断問診メンタル項目集計	全学年
	〃　　呼出面接	
	〃心のアンケートとのクロス集計	
	大学教育入門セミナー（身体面・精神面）	
	放射線業務従事者教育訓練（放射線業務従事者）（電離放射線）	該当者
	放射線業務従事者健診(血液検査)	該当者
	定期健康診断証明書の発行　5/26	全学年
	大学祭救護	
	工学部編入試験救護	受験者
	婦人科相談	希望者
	学生相談力量アップ研修会（髙橋先生講義）5/23　5/24	学生・教職員
	親子体操 5/27（土）10：00～	教職員. 学生
	福井地区保健管理担当職集まり	関係者
6月	放射線従事者健康診断	学部４年, 大学院
	〃　　再検呼出, 診察	
	〃　　結果報告書発行	
	計測・血圧再検査	該当者
	介護体験者証明書発行に伴う再検査	教育２年
	福井地区保健管理担当職集まり（臨時）	
	婦人科相談	
7月	定期健康診断再検未受検者呼出	該当者
	24時間水泳耐久レース健康診断	水泳部
	全国大学保健管理協会東海北陸地方会研究会　7/27～7/28	当番大学：金沢大学
	〃　　保健管理担当職研究会　7/27	
	工学部編入試験救護	受験者
	特殊健康診断実態調査（有機溶剤・特殊化学物質）	学部４年, 大学院
	第32回救急救命講習会　7/7	学生（主に寮生１年生）
	福井地区保健管理担当職集まり	関係者
	女性のための健康啓発セミナー　7/14	学生
	定期健康診断結核月報集計提出	
8月	麻疹調査集計・ワクチン接種対象者に案内・配布・集計	新入生
	オープンキャンパス救護　8/23	
	福井地区保健管理担当職集まり（定例１）	
	平成28年度年報資料集計・活動状況集計	
	障がい学生支援講演会　8/4	
	福井地区保健管理担当職集まり（臨時）	

	文京キャンパス	
時期	業務	対象
９月	留学生健康診断オリエンテーション	留学生
	平成28年度年報資料集計・修正	
	大学院入学試験救護業務	受験者
１０月	特殊健康診断（有機溶剤・特殊化学物質）　10/12～10/13	該当者
	〃　　　　再検呼出	該当者
	ＡＯ入試救急業務	受験者
	工学部ミニオープンキャンパス、きてみてフェア救護	
	放射線従事者健康診断２回目（問診）結果書発行	該当者
	福井地区保健管理担当職集まり（臨時）	
１１月	留学生健康診断	H29年度入学生
	〃　　　　再検呼出　診察	〃
	福井地区保健管理担当職集まり（臨時）	
	第41回北陸地区保健管理担当職研究会（当番校　福井工業大学）　11/10	
	特殊健康診断結果報告書配布	該当者
	推薦入試救急業務	受験者
	婦人科相談	希望者
１２月	学生健康フェア協力・参加　12/1	
	次年度定期健康診断実施計画（案）	
	第33回留学生救急救命講習会	留学生
	留学生健康診断結果報告書作成配布	留学生
	留学生結核月報集計報告	
	大掃除	
1月	大学入試センター試験救急業務　1/13～1/14	受験者
	次年度定期健康診断日程説明・掲示・広報	全学年
	次年度年間計画案作成	
	推薦Ⅱ入学試験救護業務	受験者
２月	前期日程入学試験救急業務	受験者
	推薦Ⅱ・ＡＯⅡ入学試験救護業務	受験生
	各種機器及び接続の点検、心電図メンテナンス	
	定期健康診断関係業者との打ち合わせ	関係業者
3月	後期日程入学試験救急業務	受験者
	定期健康診断準備（学生情報取込, 各種機器及び接続の点検）	
	卒業式救護	卒業生
	次年度定期健康診断日程説明	全学年
	福井県保健管理担当職集まり（定例２）	
	入学時健康診断案内・受診カード等新入生配布物準備	
	たな卸し（薬品・衛星材料）	

平成29年度【敦賀地区】年間主要行事

	敦賀キャンパス	
時期	業務	対象
４月	学生定期健康診断（文京キャンパスにて）	学部・大学院生
	定期健康診断再検者の計測（敦賀キャンパスにて）	対象学部・大学院生
５月	定期健康診断　問診項目呼出、健康調査呼出	最終学年
	第６回救急救命講習会(5/27)	学生・教職員
	放射線業務従事者教育訓練	学生・教職員
	放射線業務従事者健診（血液検査）	学生・教職員
	定期健康診断証明書の発行	全学年
	学生相談力量アップ研修会（文京キャンパスにて）	学生・教職員
６月	教職員定期健康診断	教職員
	特殊健康診断（上期）（作業状況調査票）（放射線業務従事者問診票）	教職員
	電離放射線従事者健康診断結果報告書の発行	学部・大学院生
７月	職員健康診断結果渡しおよび精査案内等	教職員
	特殊健康診断実態調査(有機溶剤・特殊化学物質)	学部４年・大学院生
	女性のための健康啓発セミナー	学生
８月	平成28年度年報資料集計	
９月	特殊健康診断（有機溶剤・特殊化学物質）問診票配布	該当学生
	学生相談力量アップ研修会	教職員
１０月	特殊健康診断（有機溶剤・特殊化学物質）　（文京キャンパスにて）	該当学生
	敦賀キャンパス一般公開　救護	
	敦賀地区消防訓練	
	特殊健康診断（放射線業務従事者２回目）	該当学生
１１月	留学生健康診断	H29年度入学生
	第41回北陸地区保健管理担当職研究会（福井工業大学）	
１２月	特殊健康診断（放射線・有機溶剤・化学物質２回目）	教職員
	生活習慣病検査	職員・希望者
１月	次年度定期健康診断日程・掲示	全学生
	下期特殊健康診断結果渡し及び精査案内等	教職員
	学生相談力量アップ研修会	教職員
２月	次年度年間業務計画（案）提出	
３月	次年度定期健康診断準備・日程説明	全学生

平成29年度【松岡地区】年間主要行事

時期	業務	対象
４月	入学式救護	入学生
	新入生オリエンテーション（健康管理ガイダンス：副所長、カウンセラー）	学部１年
	Ｂ型肝炎血液検査	医３年，看２年，　院生
	Ｂ型・Ｃ型肝炎及び新入生血液検査	新入生（１年、学士編入２年）
	麻疹・風疹・水痘・ﾑﾝﾌﾟｽ抗体血液検査	新入生（１年、学士編入２年）
	Ｂ型肝炎ワクチン接種(第１回)	看２年，　院生
	医学科臨床実習オリエンテーション（針刺し事故・定期健診について）	医５年
	色覚検査①（※医学科１年は一斉健診日（5/12）に実施）	看１年
５月	Ｂ型肝炎ワクチン接種(第１回)	医３年，院生
	麻疹・風疹・水痘・ﾑﾝﾌﾟｽワクチン接種(第１回：看護、学士編入)	看１年，学士編入２年
	Ｂ型肝炎ワクチン接種(第２回)	医３年，看２年，　院生
	メンタルヘルス検査	学部１年
	メンタルヘルス検査集計	
	〃　結果呼出面接	
	尿検査（１日目：5/11）	全学生（前半）
	尿検査（２回目：5/12）、　（予備日：5/26）	全学生（後半）
	全学生一斉定期健康診断（5/12）	全学生
	新入生合宿研修会（5/12）講演　（副所長）	
	Ｂ型肝炎ワクチン接種(第２回)	看２年，院生
	Ｂ型肝炎ワクチン接種(第２回)	医３年，院生
６月	歯科検診（歯科口腔外科講座）	学生希望者
	麻疹・風疹・水痘・ﾑﾝﾌﾟｽワクチン接種(第１回：医学科)	医１年
	麻疹・風疹・水痘・ﾑﾝﾌﾟｽワクチン接種(第２回：看護、学士編入)	看１年，学士編入２年
	職員定期健康診断（予備日）	定期健診の未受検者
	新入生血液検査事後措置	学部１年該当者
	定期健康診断　再検	要再検者
	〃　事後措置（診察、紹介状発行）	該当者
	健康診断証明書の発行	
	福井地区保健管理担当者集会（臨時）	
	麻疹・風疹・水痘・ﾑﾝﾌﾟｽワクチン接種(第２回：医学科)	医１年
	AED救命講習会（１）	学部１年
７月	24時間水泳耐久レース健康診断（ＥＣＧ）	水泳部
	職員定期健康診断（予備日）	定期健診の未受検者
	AED救命講習会（２）	学部１年
	定期健康診断　再検	要再検者
	〃　事後措置（診察、紹介状発行）	該当者
	看護学科臨床実習オリエンテーション	看３年
	平成29年度全国大学保健管理協会東海北陸地方部会研究集会（7/27～28）	当番：金沢大学
	〃　〃　保健管理担当職研究会（7/27）	
	24時間水泳耐久レース健康診断事後措置	該当者
８月	健康診断証明書発行	希望者
	福井地区保健管理担当者集会（定例１）	
	オープンキャンパス救護班業務	
	平成28年度定期健診受診者数・健康相談数集計・提出	
	後期健康診断計画、医師派遣依頼等日程入学試験救急業務	
	保健管理センター活動状況集計・年報資料作成	

時期	業務	対象
９月	健康診断証明書発行	
	麻疹・風疹・水痘・ﾑﾝﾌﾟｽワクチン接種(第３回)	学部１年，学士編入２年
	平成28年度保健管理センター年報作成	
１０月	福井地区保健管理担当者集会（臨時）	
	インフルエンザワクチン接種①	医４年
	Ｂ型肝炎ワクチン接種(第３回)	看２年，　院生
１１月	結核月報集計・提出	
	福井地区保健管理担当者集会（臨時）	
	平成29年度北陸地区保健管理担当職研究会（11/10）	当番：福井県（会場：福井工大）
	Ｂ型肝炎ワクチン接種(第３回)	医３年，　院生
	HBs抗体血液検査（ワクチン３回接種修了後）①	看２年，　院生
	インフルエンザワクチン接種②、③、④	医５年，看２年，看３年
	平成29年度全国大学保健管理研究集会（11/29～30）	主催：琉球大学
１２月	HBs抗体血液検査（ワクチン３回接種修了後）②	医３年，　院生
	予算執行管理業務	
	HB健康診断事後措置（ＨＢワクチン追加接種）	抗体陰性者
１月	大学入試センター試験救急業務	受験者
	HB健康診断事後措置（ＨＢｓ抗体 血液検査）	抗体陰性者
	CBT試験救護	医４年
	広報誌（くずりゅう）原稿作成	
２月	次年度健診・年間計画案作成	
	松岡地区保健センター会議	
	CBT試験（追試）救護	医４年
	福井地区保健管理担当者集会（定例２）	
	前期日程入学試験救急業務	受験者
	次年度健診業務に係る医師派遣依頼等	
３月	入学時健診案内用配布物準備	
	後期日程入学試験救急業務	受験者
	卒業式救護	卒業生
	定期健康診断測定機器点検	
	松岡地区保健センター予算管理業務	
	棚卸し（薬品・衛生材料）	

※医：医学科
※看：看護学科
※院生：大学院医学系研究科

Ⅱ 学生健康管理状况

1．実 施 要 領

（1）一次検診

一次検診として、身体計測（身長、体重）、血圧測定、尿検査、内科検診、視力測定、胸部間接Ｘ線検査および血液検査（末梢血液、肝機能、脂質、尿酸、血糖）を行った。

対象学生は下記のとおりである。

				身体計測	血圧測定	尿検査	内科検診	視力測定	胸部Ｘ線検査	血液検査
学部	教育学部		1年	○	○	○			○	○
学部	国際地域学部		1年	○	○	○			○	○
学部	教育地域科学部		2年	○	○	○				
学部	教育地域科学部		3年	○	○	○				
学部	教育地域科学部		4年	○	○	○	△		○	
学部	工学部		1年	○	○	○			○	○
学部	工学部		2年	○	○	○				
学部	工学部		3年	○	○	○				
学部	工学部		4年	○	○	○	△		○	
学部	医学部	医学科	1年	○	○	○		○	○	○
学部	医学部	医学科	2年	○	○	○			○	
学部	医学部	医学科	3年	○	○	○			○	
学部	医学部	医学科	4年	○	○	○			○	
学部	医学部	医学科	5年	○	○	○			○	
学部	医学部	医学科	6年	○	○	○		○	○	
学部	医学部	看護学科	1年	○	○	○		○	○	○
学部	医学部	看護学科	2年	○	○	○			○	
学部	医学部	看護学科	3年	○	○	○			○	
学部	医学部	看護学科	4年	○	○	○		○	○	
大学院	教育学研究科		1年	○	○	○				
大学院	教育学研究科		2年	○	○	○	△		○	
大学院	工学研究科	前期	1年	○	○	○				
大学院	工学研究科	前期	2年	○	○	○	△		○	
大学院	工学研究科	後期	1年	○	○	○				
大学院	工学研究科	後期	2年	○	○	○				
大学院	工学研究科	後期	3年	○	○	○	△		○	
大学院	医学系研究科		1年	○	○	○		○	○	
大学院	医学系研究科		2年	○	○	○			○	
大学院	医学系研究科		3年	○	○	○			○	
大学院	医学系研究科		4年	○	○	○			○	
研究生、科目等履修生、聴講生				○	○	○				

○：対象者　　　　△：必要と判断された者

（2）二次検診

ア．血圧測定

日本高血圧学会の基準（2004年）に従い、高血圧の学生を対象に再検査を行った。

イ．尿検査

蛋白（＋）、尿糖（±）、潜血（＋）以上の陽性を示した学生は、早朝尿で再検査を行い、精査の必要な学生は医療機関へ紹介した。

ウ．内科検診

健康調査という形態を採用。保健師が問診聴取。問診で医師の診察が必要と判断した学生に対し後日、医師による内科検診を実施した。なお、既に医療機関で治療している者は内科検診対象から省いた。

内科検診で異常の指摘を受けた学生には健康相談、心電図検査等を行い、精査を必要とする学生は医療機関へ紹介した。

エ．胸部Ｘ線検査

間接撮影像で異常を指摘された学生は医療機関へ紹介し、精査を依頼した。なお、対象学生は１年生および最終学年に限定している。

オ．血液検査

検査結果に異常を認めた学生には健康相談を行い、精査が必要な学生は医療機関へ紹介した。

２．平成２９年度定期健康診断の成績

（１）受検状況の成績

ア．文京キャンパス

第1表　身長、体重の受検率と肥満、痩せの割合

			性別	身長、体重 対象者数（人）	身長、体重 受検者数（人）	身長、体重 受検率（%）	肥満[※注1] 人数（人）	肥満[※注1] 割合（%）	痩せ[※注2] 人数（人）	痩せ[※注2] 割合（%）
学部	教育学部	1年	男	41	41	100.0	6	14.6	7	17.1
			女	63	63	100.0	3	4.8	13	20.6
		2年	男	34	34	100.0	6	17.6	3	8.8
			女	72	72	100.0	7	9.7	8	11.1
	教育地域科学部	3年	男	62	60	96.8	13	21.7	6	10.0
			女	103	102	99.0	9	8.8	16	15.7
		4年	男	70	59	84.3	11	18.6	1	1.7
			女	123	118	95.9	7	5.9	27	22.9
	工学部	1年	男	460	459	99.8	68	14.8	63	13.7
			女	80	80	100.0	4	5.0	22	27.5
		2年	男	459	418	91.1	32	7.7	51	12.2
			女	81	74	91.4	4	5.4	11	14.9
		3年	男	485	432	89.1	51	11.8	73	16.9
			女	104	94	90.4	5	5.3	13	13.8
		4年	男	668	537	80.4	67	12.5	87	16.2
			女	94	82	87.2	5	6.1	25	30.5
	国際地域学部	1年	男	13	13	100.0	0	0.0	1	7.7
			女	48	48	100.0	5	10.4	7	14.6
		2年	男	20	18	90.0	3	16.7	3	16.7
			女	44	43	97.7	4	9.3	7	16.3
	小計		男	2,312	2,071	89.6	257	12.4	295	14.2
			女	812	776	95.6	53	6.8	149	19.2
			計	3,124	2,847	91.1	310	10.9	444	15.6
大学院	教育学研究科	1年	男	42	27	64.3	4	14.8	1	3.7
			女	28	18	64.3	4	22.2	4	22.2
		2年	男	39	20	51.3	8	40.0	1	5.0
			女	28	14	50.0	3	21.4	3	21.4
	工学研究科 前期	1年	男	281	268	95.4	42	15.7	28	10.4
			女	29	29	100.0	2	6.9	5	17.2
		2年	男	273	247	90.5	39	15.8	28	11.3
			女	35	27	77.1	2	7.4	5	18.5
	工学研究科 後期	1年	男	25	12	48.0	5	41.7	1	8.3
			女	3	2	66.7	0	0.0	0	0.0
		2年	男	22	8	36.4	2	25.0	0	0.0
			女	2	1	50.0	1	100.0	0	0.0
		3年	男	41	7	17.1	0	0.0	1	14.3
			女	13	1	7.7	0	0.0	1	100.0
	小計		男	723	589	81.5	100	17.0	60	10.2
			女	138	92	66.7	12	13.0	18	19.6
			計	861	681	79.1	112	16.4	78	11.5
合計			男	3,035	2,660	87.6	357	13.4	355	13.3
			女	950	868	91.4	65	7.5	167	19.2
			計	3,985	3,528	88.5	422	12.0	522	14.8

※注１）肥満　：BMI 25.0 以上
※注２）痩せ　：BMI 18.5 未満

第2表　血圧測定の受検率と高血圧の割合

				性別	対象者数（人）	受検者数（人）	受検率（%）	高血圧※ 人数（人）	高血圧※ 割合（%）
学部	教育学部		1年	男	41	41	100.0	17	41.5
				女	63	63	100.0	6	9.5
			2年	男	34	34	100.0	16	47.1
				女	72	72	100.0	11	15.3
	教育地域科学部		3年	男	62	60	96.8	24	40.0
				女	103	102	99.0	14	13.7
			4年	男	70	59	84.3	20	33.9
				女	123	118	95.9	17	14.4
	工学部		1年	男	460	459	99.8	138	30.1
				女	80	80	100.0	1	1.3
			2年	男	459	419	91.3	127	30.3
				女	81	73	90.1	6	8.2
			3年	男	485	433	89.3	140	32.3
				女	104	94	90.4	10	10.6
			4年	男	668	542	81.1	172	31.7
				女	94	82	87.2	6	7.3
	国際地域学部		1年	男	13	13	100.0	3	23.1
				女	48	48	100.0	6	12.5
			2年	男	20	18	90.0	6	33.3
				女	44	43	97.7	3	7.0
	小計			男	2,312	2,078	89.9	663	31.9
				女	812	775	95.4	80	10.3
				計	3,124	2,853	91.3	743	26.0
大学院	教育学研究科		1年	男	42	27	64.3	7	25.9
				女	28	18	64.3	2	11.1
			2年	男	39	20	51.3	6	30.0
				女	28	14	50.0	0	0.0
	工学研究科	前期	1年	男	281	268	95.4	92	34.3
				女	29	29	100.0	2	6.9
			2年	男	273	247	90.5	97	39.3
				女	35	28	80.0	3	10.7
		後期	1年	男	25	12	48.0	5	41.7
				女	3	2	66.7	0	0.0
			2年	男	22	8	36.4	3	37.5
				女	2	1	50.0	0	0.0
			3年	男	41	7	17.1	2	28.6
				女	13	1	7.7	0	0.0
	小計			男	723	589	81.5	212	36.0
				女	138	93	67.4	7	7.5
				計	861	682	79.2	219	32.1
合計				男	3,035	2,667	87.9	875	32.8
				女	950	868	91.4	87	10.0
				計	3,985	3,535	88.7	962	27.2

※注１）高血圧：収縮期血圧 140 mmHg以上または／および拡張期血圧 90 mmgHg以上

第3表　尿検査の受検率、異常者数と異常者の割合

				性別	対象者数（人）	受検者数（人）	受検率（%）	異常者※ 人数（人）	異常者※ 割合（%）
学部	教育学部		1年	男	41	40	97.6	1	2.5
				女	63	63	100.0	7	11.1
			2年	男	34	34	100.0	1	2.9
				女	72	70	97.2	3	4.3
	教育地域科学部		3年	男	62	58	93.5	2	3.4
				女	103	99	96.1	5	5.1
			4年	男	70	56	80.0	4	7.1
				女	123	116	94.3	5	4.3
	工学部		1年	男	460	453	98.5	45	9.9
				女	80	79	98.8	6	7.6
			2年	男	459	375	81.7	24	6.4
				女	81	64	79.0	7	10.9
			3年	男	485	359	74.0	24	6.7
				女	104	77	74.0	3	3.9
			4年	男	668	490	73.4	18	3.7
				女	94	76	80.9	7	9.2
	国際地域学部		1年	男	13	12	92	0	0
				女	48	48	100	1	2
			2年	男	20	18	90	0	0
				女	44	41	93	1	2
	小計			男	2,312	1,895	82.0	119	6.3
				女	812	733	90.3	45	6.1
				計	3,124	2,628	84.1	164	6.2
大学院	教育学研究科		1年	男	42	24	57.1	3	12.5
				女	28	16	57.1	3	18.8
			2年	男	39	20	51.3	0	0.0
				女	28	12	42.9	0	0.0
	工学研究科	前期	1年	男	281	214	76.2	13	6.1
				女	29	22	75.9	2	9.1
			2年	男	273	242	88.6	10	4.1
				女	35	27	77.1	2	7.4
		後期	1年	男	25	9	36.0	0	0.0
				女	3	2	66.7	0	0.0
			2年	男	22	6	27.3	0	0.0
				女	2	1	50.0	0	0.0
			3年	男	41	7	17.1	0	0.0
				女	13	1	7.7	0	0.0
	小計			男	723	522	72.2	26	5.0
				女	138	81	58.7	7	8.6
				計	861	603	70.0	33	5.5
合計				男	3,035	2,417	79.6	145	6.0
				女	950	814	85.7	52	6.4
				計	3,985	3,231	81	197	6.1

※注１）異常者： 蛋白、潜血は（＋）以上、糖（±）以上の陽性者、重複している者あり

第4表　健康調査の受検率、内科検診を必要と判断した者の人数と割合

			性別	対象者数（人）	受検者数（人）	受検率（%）	内科検診対象者 人数（人）	内科検診対象者 割合（%）
学部	教育地域科学部4年		男	70	55	78.6	2	3.6
			女	123	107	87.0	4	3.7
	工学部4年		男	668	420	62.9	4	1.0
			女	94	71	75.5	1	1.4
	小計		男	738	475	64.4	6	1.3
			女	217	178	82.0	5	2.8
			計	955	653	68.4	11	1.7
大学院	教育学研究科2年		男	39	15	38.5	0	0.0
			女	28	8	28.6	0	0.0
	工学研究科	前期2年	男	273	219	80.2	7	3.2
			女	35	23	65.7	0	0.0
		後期3年	男	41	6	14.6	0	0.0
			女	13	1	7.7	0	0.0
	小計		男	353	240	68.0	7	2.9
			女	76	32	42.1	0	0.0
			計	429	272	63.4	7	2.6
合計			男	1,091	715	65.5	13	1.8
			女	293	210	71.7	5	2.4
			計	1,384	925	66.8	18	1.9

第5表　胸部X線検査の受検率、異常所見を有する者の人数と割合

			性別	対象者数（人）	受検者数（人）	受検率（%）	有所見者 人数（人）	有所見者 割合（%）
学部	教育学部1年		男	41	41	100.0	0	0.0
			女	63	63	100.0	0	0.0
	教育地域科学部4年		男	70	60	85.7	0	0.0
			女	123	117	95.1	0	0.0
	工学部	1年	男	460	459	99.8	0	0.0
			女	80	80	100.0	0	0.0
		4年	男	668	516	77.2	0	0.0
			女	94	82	87.2	0	0.0
	国際地域学部1年		男	13	13	100.0	0	0.0
			女	48	48	100.0	0	0.0
	小計		男	1,252	1,089	87.0	0	0.0
			女	408	390	95.6	0	0.0
			計	1,660	1,479	89.1	0	0.0
大学院	教育学研究科2年		男	39	20	51.3	0	0.0
			女	28	14	50.0	0	0.0
	工学研究科	前期2年	男	273	245	89.7	0	0.0
			女	35	28	80.0	0	0.0
		後期3年	男	41	7	17.1	0	0.0
			女	13	1	7.7	0	0.0
	小計		男	353	272	77.1	0	0.0
			女	76	43	56.6	0	0.0
			計	429	315	73.4	0	0.0
合計			男	1,605	1,361	84.8	0	0.0
			女	484	433	89.5	0	0.0
			計	2,089	1,794	85.9	0	0.0

第6表　血液検査の受検率、異常者数と異常者の割合

	性別	対象者数（人）	受検者数（人）	受検率（%）	異常者数※（人）	異常率（%）
教育学部１年	男	41	41	100.0	11	26.8
	女	63	63	100.0	11	17.5
	計	104	104	100.0	22	21.2
工学部１年	男	460	456	99.1	105	23.0
	女	80	80	100.0	16	20.0
	計	540	536	99.3	121	22.6
国際地域学部１年	男	13	13	100.0	3	23.1
	女	48	48	100.0	11	22.9
	計	61	61	100.0	14	23.0
合計	男	514	510	99.2	119	23.3
	女	191	191	100.0	38	19.9
	計	705	701	99.4	157	22.4

※注１）異常者数：異常の基準は下記の通りである

白血球	：	3,500（個/mm^3）未満または9,700（個/mm^3）以上
赤血球	：	男438,女376（万個/mm^3）未満
血色素	：	男13.6,女11.2（g/dl）未満
ヘマトクリット	：	男40.4,女34.3（%）未満
血小板	：	14.0（万個/mm^3）未満
AST	：	41（IU/L）以上
ALT	：	46（IU/L）以上
γ－GTP	：	男80,女49（IU/L）以上
トリグリセリド	：	150（mg/dl）以上
総コレステロール	：	220（mg/dl）以上
HDL-コレステロール	：	40（mg/dl）未満
尿酸	：	7.0（mg/dl）以上
空腹時血糖	：	110（mg/dl）以上

イ. 松岡キャンパス

第7表　身長、体重の受検率と肥満、痩せの割合

			性別	身長、体重 対象者数（人）	身長、体重 受検者数（人）	身長、体重 受検率（%）	肥満 人数（人）	肥満 割合（%）	痩せ 人数（人）	痩せ 割合（%）
医学部	医学科	1年	男	64	64	100	9	14.1	7	10.9
			女	50	50	100	3	6.0	16	32.0
		2年	男	76	75	99	7	9.3	4	5.3
			女	42	42	100	0	0.0	1	2.4
		3年	男	78	78	100	10	12.8	5	6.4
			女	41	41	100	1	2.4	3	7.3
		4年	男	67	66	99	6	9.1	2	3.0
			女	44	44	100	2	4.5	6	13.6
		5年	男	67	67	100	20	29.9	1	1.5
			女	42	42	100	1	2.4	5	11.9
		6年	男	75	73	97	8	11.0	3	4.1
			女	43	43	100	1	2.3	7	16.3
	看護学科	1年	男	4	4	100	0	0.0	0	0.0
			女	56	56	100	5	8.9	9	16.1
		2年	男	3	3	100	1	33.3	0	0.0
			女	60	59	98	1	1.7	8	13.6
		3年	男	5	5	100	0	0.0	0	0.0
			女	55	55	100	2	3.6	4	7.3
		4年	男	3	3	100	1	33.3	0	0.0
			女	52	52	100	0	0.0	5	9.6
合計			男	442	438	99	62	14.2	22	5.0
			女	485	484	100	16	3.3	64	13.2
			計	927	922	99	78	8.5	86	9.3

肥満*：BMI 25.0 以上、　痩せ**：BMI 18.5未満

第8表　血圧測定の受検率と高血圧の割合

			性別	対象者数（人）	受検者数（人）	受検率（%）	高血圧 人数（人）	高血圧 割合（%）
医学部	医学科	1年	男	64	64	100	4	6
			女	50	50	100	2	4
		2年	男	76	74	97	2	3
			女	42	42	100	0	0
		3年	男	78	78	100	7	9
			女	41	41	100	1	2
		4年	男	67	66	99	4	6
			女	44	44	100	1	2
		5年	男	67	66	99	5	8
			女	42	42	100	0	0
		6年	男	75	73	97	5	7
			女	43	43	100	0	0
	看護学科	1年	男	4	4	100	0	0
			女	56	56	100	0	0
		2年	男	3	3	100	0	0
			女	60	60	100	0	0
		3年	男	5	5	100	0	0
			女	55	55	100	0	0
		4年	男	3	3	100	0	0
			女	52	52	100	0	0
合計			男	442	436	99	27	6
			女	485	485	100	4	1
			計	927	921	99	31	3

＊：収縮期血圧140mmHg以上または／および拡張期血圧90mmHg以上

第9表　尿検査の受検率、異常者数と異常者の割合

			性別	対象者数（人）	受検者数（人）	受検率（%）	異常者 人数（人）	異常者 割合（%）
医学部	医学科	1年	男	64	64	100	4	6
			女	50	50	100	3	6
		2年	男	76	72	95	7	10
			女	42	41	98	1	2
		3年	男	78	76	97	4	5
			女	41	41	100	0	0
		4年	男	67	66	99	3	5
			女	44	42	95	3	7
		5年	男	67	66	99	1	2
			女	42	39	93	1	3
		6年	男	75	73	97	0	0
			女	43	41	95	1	2
	看護学科	1年	男	4	4	100	1	25
			女	56	54	96	2	4
		2年	男	3	3	100	0	0
			女	60	58	97	2	3
		3年	男	5	5	100	1	20
			女	55	53	96	3	6
		4年	男	3	3	100	0	0
			女	52	51	98	1	2
合　計			男	442	432	98	21	5
			女	485	470	97	17	4
			計	927	902	97	38	4

＊:　蛋白、潜血は（+）以上、　糖は(±)以上の陽性者、　重複している者あり。

第10表　視力測定の受検率

			性別	対象者数（人）	受検者数（人）	受検率（%）
医学部	医学科	1　年	男	64	63	98
			女	50	50	100
		6　年	男	75	72	96
			女	43	42	98
	看護学科	1　年	男	4	4	100
			女	56	56	100
		4　年	男	3	3	100
			女	52	51	98
合　　計			男	146	142	97
			女	201	199	99
			計	347	341	98

第11表　胸部Ｘ線検査の受検率、異常所見を有する者の人数と割合

区分 学部、学年			性別	対象者数（人）	受検者数（人）	受検率（%）	有所見者 人数（人）	有所見者 割合（%）
医学部	医学科	1年	男	64	64	100	1	2
			女	50	50	100	0	0
		2年	男	76	75	99	2	3
			女	42	42	100	0	0
		3年	男	78	78	100	0	0
			女	41	41	100	0	0
		4年	男	67	67	100	1	1
			女	44	44	100	0	0
		5年	男	67	67	100	0	0
			女	42	42	100	0	0
		6年	男	75	74	99	1	1
			女	43	43	100	1	2
	看護学科	1年	男	4	4	100	0	0
			女	56	56	100	1	2
		2年	男	3	3	100	0	0
			女	60	60	100	0	0
		3年	男	5	5	100	0	0
			女	55	55	100	0	0
		4年	男	3	3	100	0	0
			女	52	52	100	0	0
合計			男	442	440	100	5	1
			女	485	485	100	2	0
			計	927	925	100	7	1

第12表　血液検査の受検率、異常者数と異常者の割合

		性別	対象者数（人）	受検者数（人）	受検率（%）	異常者数※（人）	異常率（%）
医学部	医学科１年	男	59	59	100	26	44
		女	49	49	100	13	27
		計	108	108	100	39	36
	看護学科１年	男	4	4	100	1	25
		女	56	56	100	16	29
		計	60	60	100	17	28
合計		男	63	63	100	27	43
		女	105	105	100	29	28
		計	168	168	100	56	33

異常者数※　：　異常の基準は下記の通りである。

白血球（個/㎣）　：　3,500 未満または 9,700 以上

赤血球（万個/㎣）　：　男438、女376　未満

血色素（g/dl）　：　男13.6、女11.2　未満

ヘマトクリット（%）　：　男40.4、女34.3　未満

血小板（万個/㎣）　：　14.0 未満

ＡＳＴ（IU/L）　：　41 以上

ＡＬＴ（IU/L）　：　46 以上

γ-ＧＴＰ（IU/L）　：　男80、女49　以上

トリグリセリド（mg/dl）　：　150 以上

総コレステロール（mg/dl）　：　220 以上

ＨＤＬ-コレステロール（mg/dl）　：　40　未満

尿酸（mg/dl）　：　7.0　以上

空腹時血糖（mg/dl）　：　110 以上

総蛋白（g/dl）　：　6.5　未満、8.3　以上

アルブミン（g/dl）　：　3.7　未満

（２） 一次検診の成績

ア．文京キャンパス

第13表　身長、体重、ＢＭＩの平均値及び標準偏差（性、学年別）

				人数（人）	身長（cm）		体重（kg）		ＢＭＩ（kg/㎡）	
					平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差
男	学部	1年	教育学部	41	170	6	64	9	22	3
			国際地域学部	13	170	6	60	8	21	2
			工学部	459	171	6	63	10	22	3
			平均		170	6	63	9	22	3
		2年	教育学部	34	172	6	66	12	22	3
			国際地域学部	18	168	7	61	11	22	3
			工学部	418	172	6	62	9	21	3
			平均		170	6	63	11	22	3
		3年	教育地域科学部	60	171	5	66	12	23	4
			工学部	432	172	6	63	12	21	4
			平均		171	5	65	12	22	4
		4年	教育地域科学部	59	173	5	68	11	23	4
			工学部	537	172	6	64	12	22	4
			平均		172	6	66	12	22	4
		平均			171	6	64	11	22	3
	大学院	教育学研究科	1年	27	172	5	68	15	23	5
			2年	20	172	5	72	15	24	5
		工学研究科前期	1年	268	172	6	65	11	22	3
			2年	247	172	6	65	12	22	3
		工学研究科後期	1年	12	169	5	72	17	25	6
			2年	8	172	7	69	9	24	3
			3年	7	173	7	64	9	21	3
		平均			172	6	68	13	23	4
	平均				171	6	66	11	22	4
女	学部	1年	教育学部	63	158	5	52	9	21	3
			国際地域学部	48	158	5	52	9	21	3
			工学部	80	158	5	51	8	20	3
			平均		158	5	52	8	21	3
		2年	教育学部	72	160	5	55	10	21	4
			国際地域学部	43	158	5	52	8	21	3
			工学部	74	158	5	52	7	21	2
			平均		159	5	53	8	21	3
		3年	教育地域科学部	102	159	5	53	8	21	3
			工学部	94	159	5	53	7	21	3
			平均		159	5	53	8	21	3
		4年	教育地域科学部	118	159	5	52	8	21	3
			工学部	82	158	5	50	8	20	3
			平均		159	5	51	8	20	3
		平均			158	5	52	8	21	3
	大学院	教育学研究科	1年	18	158	4	54	12	22	5
			2年	14	160	4	54	7	21	3
		工学研究科前期	1年	29	160	6	53	7	21	2
			2年	27	158	4	52	8	21	3
		工学研究科後期	1年	2	151	9	49	4	22	1
			2年	1	150	0	62	0	28	0
			3年	1	151	0	37	0	16	0
		平均			155	4	52	5	21	2
	平均				157	5	52	7	21	3

第14表　痩せと肥満※の割合（性、学年別）

単位／％（人）

			計	痩　せ	正　常	肥満１度	肥満２度	肥満３度	肥満４度
男	学部	１　年	100.0　(513)	13.8　(71)	71.7　(368)	12.1　(62)	2.3 (12)	0.0　(0)	0.0 (0)
		２　年	100.0　(470)	12.1　(57)	79.1　(372)	7.0　(33)	1.5　(7)	0.0　(0)	0.2 (1)
		３　年	100.0　(492)	16.1　(79)	70.9　(349)	10.2　(50)	2.2 (11)	0.2　(1)	0.4 (2)
		４　年	100.0　(596)	14.8　(88)	72.1　(430)	9.4　(56)	2.7 (16)	0.8　(5)	0.2 (1)
	大学院	教育学研究科	100.0　(45)	4.4　(2)	71.1　(32)	13.3　(6)	8.9　(4)	0.0　(0)	2.2 (1)
		工学研究科前期	100.0　(515)	10.9　(56)	73.4　(378)	12.0　(62)	3.1 (16)	0.6　(3)	0.0 (0)
		工学研究科後期	100.0　(27)	7.4　(2)	66.7　(18)	14.8　(4)	7.4　(2)	3.7　(1)	0.0 (0)
	合　計		100.0 (2,658)	13.4 (355)	73.3 (1,947)	10.3 (273)	2.6 (68)	0.4 (10)	0.2 (5)
女	学部	１　年	100.0　(191)	22.0　(42)	71.7　(137)	4.7　(9)	1.6　(3)	0.0　(0)	0.0 (0)
		２　年	100.0　(189)	13.8　(26)	78.3　(148)	6.9　(13)	0.5　(1)	0.0　(0)	0.5 (1)
		３　年	100.0　(196)	14.8　(29)	78.1　(153)	5.6　(11)	1.5　(3)	0.0　(0)	0.0 (0)
		４　年	100.0　(200)	26.0　(52)	68.0　(136)	4.5　(9)	1.5　(3)	0.0　(0)	0.0 (0)
	大学院	教育学研究科	100.0　(31)	22.6　(7)	58.1　(18)	12.9　(4)	6.5　(2)	0.0　(0)	0.0 (0)
		工学研究科前期	100.0　(56)	17.9　(10)	75.0　(42)	7.1　(4)	0.0　(0)	0.0　(0)	0.0 (0)
		工学研究科後期	100.0　(4)	25.0　(1)	50.0　(2)	25.0　(1)	0.0　(0)	0.0　(0)	0.0 (0)
	合　計		100.0　(867)	19.3 (167)	73.4　(636)	5.9　(51)	1.4 (12)	0.0　(0)	0.1 (1)

※注１）肥満：ＢＭＩ（kg/㎡）による肥満の分類（日本肥満学会、2000年）

痩　　せ　：ＢＭＩ18.5未満

正　　常　：ＢＭＩ18.5以上25未満

肥 満 1 度　：ＢＭＩ25以上30未満

肥 満 2 度　：ＢＭＩ30以上35未満

肥 満 3 度　：ＢＭＩ35以上40未満

肥 満 4 度　：ＢＭＩ40以上

第15表　血圧※の状況（性、学年別）

単位／％（人）

			総　数		至適血圧		正常血圧		高値正常血圧		高血圧	
男	学部	1　年	100.0	(513)	21.1	(108)	20.9	(107)	27.3	(140)	30.8	(158)
		2　年	100.0	(471)	20.6	(97)	23.1	(109)	24.6	(116)	31.6	(149)
		3　年	100.0	(493)	19.7	(97)	23.9	(118)	23.1	(114)	33.3	(164)
		4　年	100.0	(601)	17.0	(102)	26.6	(160)	24.5	(147)	31.9	(192)
	大学院	教育学研究科	100.0	(45)	24.4	(11)	13.3	(6)	33.3	(15)	28.9	(13)
		工学研究科前期	100.0	(515)	14.4	(74)	25.8	(133)	23.1	(119)	36.7	(189)
		工学研究科後期	100.0	(27)	14.8	(4)	33.3	(9)	14.8	(4)	37.0	(10)
	合　計		100.0	(2,665)	18.5	(493)	24.1	(642)	24.6	(655)	32.8	(875)
女	学部	1　年	100.0	(191)	58.1	(111)	23.0	(44)	12.0	(23)	6.8	(13)
		2　年	100.0	(188)	59.0	(111)	17.6	(33)	12.8	(24)	10.6	(20)
		3　年	100.0	(196)	49.5	(97)	22.4	(44)	15.8	(31)	12.2	(24)
		4　年	100.0	(200)	57.0	(114)	19.5	(39)	12.0	(24)	11.5	(23)
	大学院	教育学研究科	100.0	(31)	54.8	(17)	22.6	(7)	16.1	(5)	6.5	(2)
		工学研究科前期	100.0	(57)	56.1	(32)	29.8	(17)	5.3	(3)	8.8	(5)
		工学研究科後期	100.0	(4)	50.0	(2)	25.0	(1)	25.0	(1)	0.0	(0)
	合　計		100.0	(867)	55.8	(484)	21.3	(185)	12.8	(111)	10.0	(87)

※注１）血圧＊：血圧（mmHg）分類（日本高血圧学会「高血圧治療ガイドライン2009」より）

至　適　血　圧：　収縮期血圧120未満かつ拡張期血圧80未満

正　常　血　圧：　収縮期血圧130未満かつ拡張期血圧85未満

高値正常血圧：　収縮期血圧130～139または拡張期血圧85～89

高　　血　　圧：　収縮期血圧140以上または拡張期血圧90以上

※収縮期血圧と拡張期血圧が異なる分類に属する場合は、高いほうの分類に組み入れる。

第16表　尿検査の状況（性、学年別）

単位／%（人）

			計		正　常		蛋白陽性		糖陽性		潜血陽性	
男	学部	1　年	100.2	(506)	90.9	(459)	7.9	(40)	0.8	(4)	0.6	(3)
		2　年	100.2	(428)	94.1	(402)	4.2	(18)	1.2	(5)	0.7	(3)
		3　年	100.0	(417)	93.8	(391)	3.4	(14)	2.2	(9)	0.7	(3)
		4　年	100.0	(546)	96.0	(524)	2.9	(16)	0.7	(4)	0.4	(2)
	大学院	教育学研究科	100.0	(42)	92.9	(39)	4.8	(2)	2.4	(1)	0.0	(0)
		工学研究科前期	100.0	(456)	95.0	(433)	2.6	(12)	1.8	(8)	0.7	(3)
		工学研究科後期	100.0	(22)	100.0	(22)	0.0	(0)	0.0	(0)	0.0	(0)
	合　計		100.1	(2,417)	94.0	(2,270)	4.2	(102)	1.3	(31)	0.6	(14)
女	学部	1　年	100.5	(191)	92.6	(176)	5.3	(10)	2.1	(4)	0.5	(1)
		2　年	100.6	(176)	93.7	(164)	1.7	(3)	1.7	(3)	3.4	(6)
		3　年	100.0	(176)	95.5	(168)	2.3	(4)	0.0	(0)	2.3	(4)
		4　年	100.5	(192)	94.2	(180)	3.1	(6)	0.5	(1)	2.6	(5)
	大学院	教育学研究科	100.0	(25)	88.0	(22)	4.0	(1)	4.0	(1)	4.0	(1)
		工学研究科前期	100.0	(49)	91.8	(45)	2.0	(1)	0.0	(0)	6.1	(3)
		工学研究科後期	100.0	(4)	100.0	(4)	0.0	(0)	0.0	(0)	0.0	(0)
	合　計		100.4	(813)	93.7	(759)	3.1	(25)	1.1	(9)	2.5	(20)

※注１）2項目以上の陽性がいるため、割合の合計は100%を超える。

第17表　内科検診の状況（性、学年別）

単位／%（人）

			計		異常なし		経過観察		医療機関紹介	
合計			100	(13)	84.6	(11)	0.0	(0)	15.4	(2)
男	学部	教育地域科学部4年	100	(1)	100.0	(1)	−	(0)	−	(0)
		工学部4年	100	(3)	100.0	(3)	−	(0)	−	(0)
		合計	100	(4)	100.0	(4)	−	(0)	−	(0)
	大学院	教育学研究科2年	−	(0)	−	(0)	−	(0)	−	(0)
		工学研究科前期2年	100	(4)	75.0	(3)	−	(0)	25.0	(1)
		工学研究科後期3年	−	(0)	−	(0)	−	(0)	−	(0)
		合計	100	(4)	75.0	(3)	−	(0)	25.0	(1)
女	学部	教育地域科学部4年	100	(4)	75.0	(3)	−	(0)	25.0	(1)
		工学部4年	100	(1)	100.0	(1)	−	(0)	−	(0)
		合計	100	(5)	80.0	(4)	−	(0)	20.0	(1)
	大学院	教育学研究科2年	−	(0)	−	(0)	−	(0)	−	(0)
		工学研究科前期2年	−	(0)	−	(0)	−	(0)	−	(0)
		工学研究科後期3年	−	(0)	−	(0)	−	(0)	−	(0)
		合計	−	(0)	−	(0)	−	(0)	−	(0)

※注１）健康調査受検者925名。うち内科検診対象者11名に対し、医師診察実施。

※注２）重複該当者があるため、割合の合計は100%を超える場合がある。

第18表　胸部X線検査の状況（性、学年別）

単位／％（人）

			計		正常		肺陰影		心血管陰影		その他	
合計			100.0	(2,089)	99.0	(2,069)	0.5	(11)	0.2	(4)	0.2	(5)
男	学部	1年	100.0	(514)	98.8	(508)	0.8	(4)	0.4	(2)	0.0	(0)
		4年	100.0	(738)	99.2	(732)	0.3	(2)	0.1	(1)	0.4	(3)
	大学院	教育学研究科2年	100.0	(39)	100.0	(39)	0.0	(0)	0.0	(0)	0.0	(0)
		工学研究科前期2年	100.0	(273)	97.8	(267)	1.5	(4)	0.4	(1)	0.4	(1)
		工学研究科後期3年	100.0	(41)	100.0	(41)	0.0	(0)	0.0	(0)	0.0	(0)
女	学部	1年	100.0	(191)	99.5	(190)	0.5	(1)	0.0	(0)	0.0	(0)
		4年	100.0	(217)	99.5	(216)	0.0	(0)	0.0	(0)	0.5	(1)
	大学院	教育学研究科2年	100.0	(28)	100.0	(28)	0.0	(0)	0.0	(0)	0.0	(0)
		工学研究科前期2年	100.0	(35)	100.0	(35)	0.0	(0)	0.0	(0)	0.0	(0)
		工学研究科後期3年	100.0	(13)	100.0	(13)	0.0	(0)	0.0	(0)	0.0	(0)

第19表　血液検査の平均値と標準偏差（性別）

	男			女			単　位
	人数	平均値	標準偏差	人数	平均値	標準偏差	
白血球	510	6	1	191	6	1	千個/㎜^{3}
赤血球	510	537	30	191	473	29	万個/㎜^{3}
血色素	510	16	1	191	14	1	g/dl
ヘマトクリット	510	47	2	191	41	3	%
血小板	510	25	5	191	27	6	万個/㎜^{3}
ＡＳＴ	510	21	9	191	18	6	IU/L
ＡＬＴ	510	22	21	191	14	12	IU/L
γ－ＧＴＰ	510	22	17	191	15	7	IU/L
トリグリセリド	510	72	41	191	63	37	mg/dl
総コレステロール	510	164	29	191	183	35	mg/dl
ＨＤＬ－コレステロール	510	57	10	191	69	12	mg/dl
尿酸	510	6	1	191	4	1	mg/dl
空腹時血糖	510	88	8	191	87	6	mg/dl

イ. 松岡キャンパス

第20表　身長、体重、ＢＭＩの平均値及び標準偏差（性、学年別）

			人数	身長 (cm)		体重 (kg)		BMI (kg/㎡)	
				平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差
男	総　数		438	172	6	66	9	22	3
男	医学部	1年	68	173	5	64	9	22	3
男	医学部	2年	78	173	7	65	9	22	3
男	医学部	3年	83	171	6	65	10	22	3
男	医学部	4年	69	171	6	65	8	22	2
男	医学部	5年	67	172	5	68	11	23	3
男	医学部	6年	73	172	5	65	9	22	3
女	総　数		484	159	5	52	7	21	2
女	医学部	1年	106	159	6	53	10	21	4
女	医学部	2年	101	159	4	52	5	21	2
女	医学部	3年	96	158	6	52	7	21	2
女	医学部	4年	96	160	6	53	6	21	2
女	医学部	5年	42	160	5	52	6	20	2
女	医学部	6年	43	159	5	51	6	20	2

第21表　痩せと肥満の割合　（性、学年別）

単位／％（人）

			総数		痩せ		正常		肥満１度		肥満２度		肥３度	
男	総　数		100.0	(438)	5.0	(22)	80.8	(354)	12.3	(54)	1.8	(8)	0.0	(0)
	医学部	1年	100.0	(68)	10.3	(7)	76.5	(52)	13.2	(9)	0.0	(0)	0.0	(0)
		2年	100.0	(78)	5.1	(4)	84.6	(66)	7.7	(6)	2.6	(2)	0.0	(0)
		3年	100.0	(83)	6.0	(5)	81.9	(68)	9.6	(8)	2.4	(2)	0.0	(0)
		4年	100.0	(69)	2.9	(2)	87.0	(60)	8.7	(6)	1.4	(1)	0.0	(0)
		5年	100.0	(67)	1.5	(1)	68.7	(46)	26.9	(18)	3.0	(2)	0.0	(0)
		6年	100.0	(73)	4.1	(3)	84.9	(62)	9.6	(7)	1.4	(1)	0.0	(0)
女	総　数		100.0	(484)	13.2	(64)	83.5	(404)	2.5	(12)	0.6	(3)	0.2	(1)
	医学部	1年	100.0	(106)	23.6	(25)	68.9	(73)	4.7	(5)	1.9	(2)	0.9	(1)
		2年	100.0	(101)	8.9	(9)	90.1	(91)	1.0	(1)	0.0	(0)	0.0	(0)
		3年	100.0	(96)	7.3	(7)	89.6	(86)	3.1	(3)	0.0	(0)	0.0	(0)
		4年	100.0	(96)	11.5	(11)	86.5	(83)	2.1	(2)	0.0	(0)	0.0	(0)
		5年	100.0	(42)	11.9	(5)	85.7	(36)	0.0	(0)	2.4	(1)	0.0	(0)
		6年	100.0	(43)	16.3	(7)	81.4	(35)	2.3	(1)	0.0	(0)	0.0	(0)

* ＢＭＩ　（ kg/㎡ ）による肥満の分類　（日本肥満学会、2000年 ）

痩　　せ　：　ＢＭＩ18.5未満

正　　常　：　ＢＭＩ18.5以上25未満

肥満１度　：　ＢＭＩ25以上30未満

肥満２度　：　ＢＭＩ30以上35未満

肥満３度　：　ＢＭＩ35以上40未満

肥満４度　：　ＢＭＩ40以上

第22表　血圧*の状況（性、学年別）

単位／％（人）

			総数		至適血圧		正常血圧		高値正常血圧		高血圧	
男	合　計		100.0	(436)	39.7	(173)	34.6	(151)	19.7	(86)	6.0	(26)
	医学部	1年	100.0	(68)	36.8	(25)	36.8	(25)	20.6	(14)	5.9	(4)
		2年	100.0	(77)	46.8	(36)	28.6	(22)	22.1	(17)	2.6	(2)
		3年	100.0	(83)	42.2	(35)	32.5	(27)	16.9	(14)	8.4	(7)
		4年	100.0	(69)	31.9	(22)	43.5	(30)	18.8	(13)	5.8	(4)
		5年	100.0	(66)	48.5	(32)	25.8	(17)	19.7	(13)	6.1	(4)
		6年	100.0	(73)	31.5	(23)	41.1	(30)	20.5	(15)	6.8	(5)
女	合　計		100.0	(485)	76.3	(370)	17.3	(84)	5.6	(27)	0.8	(4)
	医学部	1年	100.0	(106)	67.0	(71)	18.9	(20)	12.3	(13)	1.9	(2)
		2年	100.0	(102)	84.3	(86)	12.7	(13)	2.9	(3)	0.0	(0)
		3年	100.0	(96)	71.9	(69)	22.9	(22)	4.2	(4)	1.0	(1)
		4年	100.0	(96)	75.0	(72)	18.8	(18)	5.2	(5)	1.0	(1)
		5年	100.0	(42)	88.1	(37)	11.9	(5)	0.0	(0)	0.0	(0)
		6年	100.0	(43)	81.4	(35)	14.0	(6)	4.7	(2)	0.0	(0)

血圧*：血圧（mmHg）分類（高血圧治療ガイドライン2009.厚生労働省）

至 適 血 圧 ： 収縮期血圧120未満かつ拡張期血圧80未満

正 常 血 圧 ： 収縮期血圧130未満かつ拡張期血圧85未満

高値正常血圧： 収縮期血圧130～139または拡張期血圧85～89

高　　血　　圧： 収縮期血圧140以上または拡張期血圧90以上

収縮期血圧と拡張期血圧が異なる分類に属する場合は、高い方の分類に組み入れる。

第23表　尿検査の状況（性、学年別）

単位／％（人）

			計		正常		蛋白陽性		糖偽陽性		糖陽性		潜血陽性	
男	合　計		100.0	(432)	96.1	(415)	3.0	(13)	0.5	(2)	0.2	(1)	0.2	(1)
	医学部	1年	100.0	(68)	92.6	(63)	7.4	(5)	0.0	(0)	0.0	(0)	0.0	(0)
		2年	100.0	(75)	96.0	(72)	4.0	(3)	0.0	(0)	0.0	(0)	0.0	(0)
		3年	100.0	(81)	93.8	(76)	2.5	(2)	2.5	(2)	1.2	(1)	0.0	(0)
		4年	100.0	(69)	95.7	(66)	4.3	(3)	0.0	(0)	0.0	(0)	0.0	(0)
		5年	100.0	(66)	98.5	(65)	0.0	(0)	0.0	(0)	0.0	(0)	1.5	(1)
		6年	100.0	(73)	100.0	(73)	0.0	(0)	0.0	(0)	0.0	(0)	0.0	(0)
女	合　計		100.0	(485)	96.1	(466)	1.9	(9)	0.2	(1)	0.0	(0)	1.9	(9)
	医学部	1年	100.0	(106)	95.3	(101)	1.9	(2)	0.0	(0)	0.0	(0)	2.8	(3)
		2年	100.0	(102)	95.1	(97)	2.0	(2)	1.0	(1)	0.0	(0)	2.0	(2)
		3年	100.0	(96)	96.9	(93)	1.0	(1)	0.0	(0)	0.0	(0)	2.1	(2)
		4年	100.0	(96)	95.8	(92)	2.1	(2)	0.0	(0)	0.0	(0)	2.1	(2)
		5年	100.0	(42)	97.6	(41)	2.4	(1)	0.0	(0)	0.0	(0)	0.0	(0)
		6年	100.0	(43)	97.7	(42)	2.3	(1)	0.0	(0)	0.0	(0)	0.0	(0)

※２項目の陽性がいるため、割合の合計は100%を超える。

第24表　胸部Ｘ線検査の状況　（性、学年別）

単位／%（人）

<table>
<tr><th colspan="3"></th><th colspan="2">計</th><th colspan="2">正常</th><th colspan="2">肺陰影</th><th colspan="2">心血管陰影</th><th colspan="2">その他</th></tr>
<tr><td rowspan="7">男</td><td colspan="2">合　計</td><td>100.0</td><td>(440)</td><td>98.9</td><td>(435)</td><td>0.5</td><td>(2)</td><td>0.0</td><td>(0)</td><td>0.7</td><td>(3)</td></tr>
<tr><td rowspan="6">医学部</td><td>1年</td><td>100.0</td><td>(68)</td><td>98.5</td><td>(67)</td><td>0.0</td><td>(0)</td><td>0.0</td><td>(0)</td><td>1.5</td><td>(1)</td></tr>
<tr><td>2年</td><td>100.0</td><td>(78)</td><td>97.4</td><td>(76)</td><td>0.0</td><td>(0)</td><td>0.0</td><td>(0)</td><td>2.6</td><td>(2)</td></tr>
<tr><td>3年</td><td>100.0</td><td>(83)</td><td>100.0</td><td>(83)</td><td>0.0</td><td>(0)</td><td>0.0</td><td>(0)</td><td>0.0</td><td>(0)</td></tr>
<tr><td>4年</td><td>100.0</td><td>(70)</td><td>98.6</td><td>(69)</td><td>1.4</td><td>(1)</td><td>0.0</td><td>(0)</td><td>0.0</td><td>(0)</td></tr>
<tr><td>5年</td><td>100.0</td><td>(67)</td><td>100.0</td><td>(67)</td><td>0.0</td><td>(0)</td><td>0.0</td><td>(0)</td><td>0.0</td><td>(0)</td></tr>
<tr><td>6年</td><td>100.0</td><td>(74)</td><td>98.6</td><td>(73)</td><td>1.4</td><td>(1)</td><td>0.0</td><td>(0)</td><td>0.0</td><td>(0)</td></tr>
<tr><td rowspan="7">女</td><td colspan="2">合　計</td><td>100.0</td><td>(485)</td><td>99.6</td><td>(483)</td><td>0.4</td><td>(2)</td><td>0.0</td><td>(0)</td><td>0.0</td><td>(0)</td></tr>
<tr><td rowspan="6">医学部</td><td>1年</td><td>100.0</td><td>(106)</td><td>99.1</td><td>(105)</td><td>0.9</td><td>(1)</td><td>0.0</td><td>(0)</td><td>0.0</td><td>(0)</td></tr>
<tr><td>2年</td><td>100.0</td><td>(102)</td><td>100.0</td><td>(102)</td><td>0.0</td><td>(0)</td><td>0.0</td><td>(0)</td><td>0.0</td><td>(0)</td></tr>
<tr><td>3年</td><td>100.0</td><td>(96)</td><td>100.0</td><td>(96)</td><td>0.0</td><td>(0)</td><td>0.0</td><td>(0)</td><td>0.0</td><td>(0)</td></tr>
<tr><td>4年</td><td>100.0</td><td>(96)</td><td>100.0</td><td>(96)</td><td>0.0</td><td>(0)</td><td>0.0</td><td>(0)</td><td>0.0</td><td>(0)</td></tr>
<tr><td>5年</td><td>100.0</td><td>(42)</td><td>100.0</td><td>(42)</td><td>0.0</td><td>(0)</td><td>0.0</td><td>(0)</td><td>0.0</td><td>(0)</td></tr>
<tr><td>6年</td><td>100.0</td><td>(43)</td><td>97.7</td><td>(42)</td><td>2.3</td><td>(1)</td><td>0.0</td><td>(0)</td><td>0.0</td><td>(0)</td></tr>
</table>

第25表　血液検査の平均値と標準偏差　（性別）

	男			女			単位
	人数	平均値	標準偏差	人数	平均値	標準偏差	
白血球	63	6.8	1.5	105	7.1	1.5	千個/mm^3
赤血球	63	526.1	33.6	105	462.8	29.0	万個/mm^3
血色素	63	15.7	0.9	105	13.4	1.1	g/dl
ヘマトクリット	63	46.4	2.5	105	40.6	2.5	%
血小板	63	25.8	4.4	105	28.4	6.3	万個/mm^3
ＡＳＴ	63	25.3	13.9	105	18.9	4.9	IU/L
ＡＬＴ	63	26.2	26.8	105	14.6	7.7	IU/L
γ－ＧＴＰ	63	22.4	12.3	105	17.7	7.6	IU/L
トリグリセリド	63	115.3	64.9	105	75.7	35.2	mg/dl
総コレステロール	63	166.9	29.6	105	179.8	30.0	mg/dl
ＨＤＬコレステロール	63	59.3	12.1	105	71.3	13.1	mg/dl
尿酸	63	5.2	0.9	105	4.1	0.9	mg/dl
血糖	63	84.3	16.3	105	87.5	9.9	mg/dl
総蛋白	63	7.5	0.3	105	7.7	0.4	g/dl
アルブミン	63	4.8	0.2	105	4.8	0.3	g/dl

Ⅲ 保健管理センター利用状況

＃

１．平成２９年度保健管理センター利用状況（学生）

ア．文京キャンパス

月別	処置	投薬	静養	体温測定	血圧測定	採血	尿検査	心電図検査	他医療機関紹介	医療機関搬送	紹介状の記載	内科医師診察	看護師相談	カウンセリング	婦人科相談	精神科相談	整形外科相談	視力測定	握力測定	マッサージチェア使用	肺活量測定	トレーニング機器の使用	身長・体重測定	証明書発行	健康診断結果書発行	その他	合計
4	17	4	27	5	5	30	99	3	5	0	7	12	19	26	8	16	0	1	0	0	0	0	7	3	0	8	312
5	16	9	4	8	11	19	8	0	60	0	80	123	30	23	2	6	0	0	0	1	0	2	7	612	105	5	965
6	14	5	9	6	34	0	0	0	5	0	6	2	21	31	5	7	0	4	0	1	0	3	24	695	239	6	1, 139
7	13	2	18	3	11	0	0	6	8	0	4	8	13	35	0	12	0	0	0	0	0	0	11	133	4	8	308
8	7	1	5	0	2	0	2	0	2	0	1	0	6	17	0	4	0	0	0	0	0	0	0	223	2	2	305
9	3	4	0	4	1	0	0	0	2	0	2	1	7	24	0	8	0	0	0	0	0	0	6	96	2	7	197
10	9	5	5	8	9	0	1	0	4	0	8	0	13	36	0	18	0	0	0	1	0	0	8	64	2	14	232
11	7	2	6	8	13	0	0	0	8	0	15	3	16	38	2	8	0	0	2	0	0	0	10	50	238	11	457
12	10	1	5	3	0	1	0	0	5	0	3	0	12	26	0	10	0	0	0	0	0	0	18	71	151	17	366
1	5	3	0	6	1	0	2	0	4	0	3	2	41	39	0	10	0	0	0	0	0	0	14	56	2	20	240
2	6	1	3	1	1	0	0	0	2	0	4	0	14	26	0	6	0	1	0	0	0	0	1	50	1	7	159
3	2	1	2	2	0	0	0	0	2	0	2	0	4	39	0	15	0	0	0	0	0	0	1	301	1	7	416
合計	109	38	84	54	88	50	112	9	107	0	135	151	196	360	17	120	0	6	2	3	0	5	107	2, 354	747	112	5, 096

イ．松岡キャンパス

月別	処置	投薬	静養	体温測定	血圧測定	採血	尿検査	心電図検査	他医療機関紹介	医療機関搬送	紹介状の記載	内科医師診察	歯科口腔外科診察	看護師相談	カウンセリング	婦人科相談	精神科相談	整形外科相談	視力測定	握力測定	マッサージチェア使用	肺活量測定	トレーニング機器の使用	身長・体重測定	証明書発行	健康診断結果書発行	健康診断書発行	合計
4	1	1	1	5	2	0	0	0	12	0	11	2	0	17	34	0	1	1	0	0				2	9		0	99
5	5	3	0	5	5	0	13	0	20	0	18	0	0	25	41	0	2	1	5	0				7	31		0	181
6	2	3	2	1	5	0	7	14	24	3	20	3	0	28	45	0	0	3	2	0				5	34		0	201
7	2	1	2	6	4	0	6	25	13	0	13	11	0	17	28	0	1	0	2	0				2	63		0	196
8	0	0	1	0	0	0	0	1	8	0	8	4	0	15	13	0	0	1	0	0				0	28		0	79
9	1	1	0	1	1	0	0	0	10	0	7	0	0	15	28	1	0	0	0	0				3	5		0	73
10	3	1	1	4	0	0	0	0	12	0	10	1	0	24	27	3	1	1	0	0				1	3		0	92
11	3	3	0	3	0	0	0	0	8	0	8	3	0	19	23	0	3	0	0	0				0	4		0	77
12	0	0	1	6	0	0	0	0	4	0	4	1	0	14	31	0	1	0	0	0				0	5		0	67
1	3	3	0	2	1	18	0	0	7	0	7	0	0	21	25	0	0	0	1	0				1	5		0	94
2	2	1	0	0	0	0	0	0	10	0	9	0	0	13	15	0	2	0	0	0				2	28		0	82
3	1	1	1	0	0	0	0	0	6	1	5	0	0	18	25	0	0	2	0	0				0	11		0	71
合計	23	18	9	33	18	18	26	40	134	4	120	25	0	226	335	4	11	9	10	0				23	226		0	1,312

#

２．平成２９年度保健管理センター利用状況(職員)

ア．文京キャンパス

月別	処置	投薬	静養	体温測定	血圧測定	採血	尿検査	心電図検査	他医療機関紹介	医療機関搬送	紹介状の記載	内科医師診察	看護師相談	カウンセリング	婦人科相談	精神科相談	整形外科相談	視力測定	握力測定	マッサージチェア使用	肺活量測定	トレーニング機器の使用	身長・体重測定	証明書発行	健康診断結果書発行	その他	合計
4	4	10	14	0	7	0	0	0	1	0	0	3	3	0	0	7	0	0	0	0	0	0	1	0	0	7	57
5	6	6	24	4	7	2	0	4	2	0	1	3	8	0	0	7	0	0	0	2	0	0	2	0	1	24	103
6	2	9	15	1	10	1	0	1	3	0	1	5	8	0	0	15	0	0	0	3	0	0	3	0	1	34	112
7	2	8	19	1	8	0	0	0	3	0	1	4	7	0	0	10	0	0	0	2	0	0	4	0	23	13	105
8	2	5	2	2	8	0	14	1	2	0	7	8	3	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2	0	569	3	629
9	5	5	1	2	6	0	2	0	2	0	2	12	8	0	0	7	0	0	0	2	1	0	4	0	0	3	62
10	6	8	2	4	4	0	0	0	1	0	0	5	13	0	0	12	0	0	0	1	0	0	3	1	0	7	67
11	2	7	6	2	4	1	0	1	1	0	2	10	10	0	0	13	0	0	0	0	0	1	1	3	0	5	69
12	7	4	5	3	1	0	0	0	3	0	4	11	8	0	0	7	0	0	0	0	0	0	0	4	0	2	59
1	9	8	12	7	7	0	0	0	3	0	2	9	17	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	2	52	2	133
2	4	6	10	5	5	0	0	0	4	0	3	9	19	0	0	7	0	0	0	0	0	1	1	2	0	11	87
3	3	7	8	5	2	0	0	0	0	0	1	10	21	0	0	12	0	0	0	0	0	0	1	0	0	7	77
合計	52	83	118	36	69	4	16	7	25	0	24	89	125	0	0	101	0	0	0	10	0	2	22	12	646	118	1,559

#

イ．松岡キャンパス

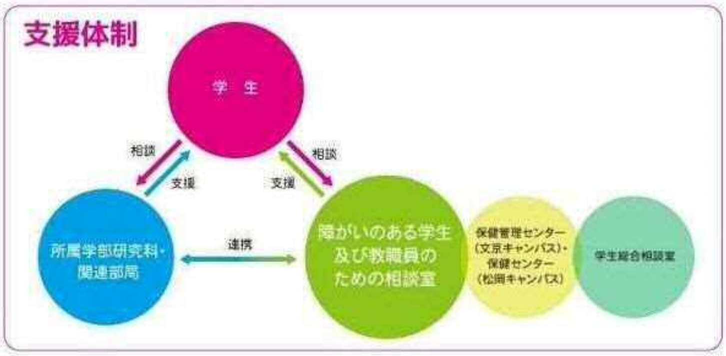
月別	処置	投薬	静養	体温測定	血圧測定	採血	尿検査	心電図検査	他医療機関紹介	医療機関搬送	紹介状の記載	内科医師診察	看護師相談	カウンセリング	婦人科相談	精神科相談	整形外科相談	視力測定	握力測定	マッサージチェア使用	肺活量測定	トレーニング機器の使用	身長・体重測定	証明書発行	健康診断結果書発行	健康診断書発行	合計
4	0	1	4	0	2	0	0	0	3	0	3	0	1	28	0	0		0	0				0	0	0		42
5	0	1	11	1	4	0	0	0	2	0	2	0	3	29	0	0		0	0				0	0	3		56
6	0	1	17	1	1	0	0	0	3	0	3	0	6	39	0	0		0	0				2	0	0		73
7	0	2	18	0	1	0	0	0	8	0	8	0	6	21	0	0		0	0				2	0	1,863		1,929
8	1	1	3	0	0	0	0	0	14	0	14	0	0	19	0	0		0	0				1	0	1		54
9	0	2	4	0	1	0	0	0	4	0	3	0	0	10	0	0		0	0				0	12	13		49
10	3	1	1	3	1	0	0	0	4	0	4	0	0	17	0	0		0	0				0	25	170		229
11	1	3	6	1	1	0	0	0	9	0	9	0	3	12	0	0		0	0				1	18	5		69
12	0	5	4	2	0	0	0	0	7	0	7	0	2	14	0	0		0	0				1	16	7		65
1	2	2	5	0	1	0	0	0	4	0	4	0	5	12	0	0		0	0				0	8	2		45
2	1	0	5	0	0	0	0	0	3	0	3	0	1	7	0	0		0	0				1	6	3		30
3	0	1	5	1	1	0	0	0	5	0	5	0	1	14	0	0		0	0				0	14	0		47
合計	8	20	83	9	13	0	0	0	66	0	65	0	28	222	0	0		0	0				8	99	2,067		2,688

３．平成 29 年度福井大学保健管理センター利用状況（心理相談）

ア．文京キャンパス

平成 29 年度の保健管理センターにとって大きな変化は、「障がいのある学生及び教職員のための相談室」の専任講師として、臨床心理士である後藤綾文先生が新たに加わったことである。障害学生支援室は、障害のある学生及び教職員が障害によってハンディを被らずに充実した生活が送れるよう、関連部署との連携を通じて一人ひとりのニーズに合わせた支援を目指している。

年々その利用者数が増加し、より充実した支援体制が望まれる中での着任であった。学内外に向けたがい学生支援に関する啓もう活動や連携体制の強化、さらにはホームページの充実など、幅広い方面での支援体制が強化された。結果、利用者数はさらに増加し、その必要性が改めて浮き彫りにされている。今後も引き続き支援体制を拡充する予定である。



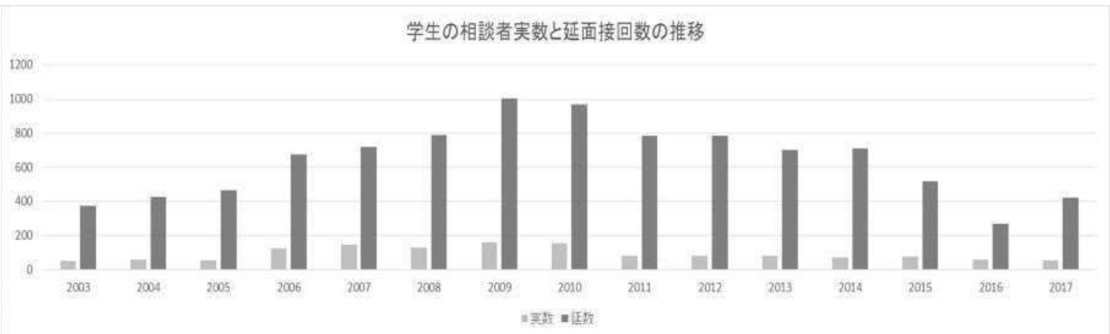
保健管理センター利用者の推移と現状

職員の保健管理センターの利用状況を概観すると、平成 28 年度に比して処置や投薬などの医療的な介入頻度に大きな変化は見られなかったものの、静養室の利用や血圧測定などの施設利用頻度は低下していた。一方健康相談においては、看護師相談および精神科医相談は大きく増加し、また内科医診察は昨年に続けて高い診察回数を維持した。身体および心の健康の維持は同センターの大きなミッションであり、さらに充実した体制の整備を目指したい。

学生における精神的相談の推移

学生総合相談室が機能し始めた平成 23 年度より減少していた保健管理センターの学生相談者数は本年度大きく増加した（図１）。要因としては、上述した専任職員の着任があげられる。昨年度は保健管理センターと学生総合相談室が夫々の特性を生かした機能分化を目指したが、本年度は保健管理センター内においても後藤先生が中心となって“生活・修学上の困りごと”への対応を幅広く行った結果であると考えられる。一方、学生総合相談室における相談件数は高い水準を維持しており、今年度も約 1,700 件で推移している。精神医学的な問題を抱えた学生は多く、障がい学生支援システムを基盤に保健管理センターと学生総合相談室、さらには担当教員を交えた多面的な支援に繋げている。

＜図１＞学生の相談者数実数と延面接件数の推移



学部別精神的相談者数

保健管理センターの学部別相談件数および保健管理センターと学生総合相談室を合わせた学部別相談者数の経年的推移を表１（A)、(B）にそれぞれ示す。保健管理センターの学部別相談数では例年同様工学部が多く、次いで工学研究科となっていた。学生総合相談室の学部別相談者数でも同様の傾向がみられ、工学部で最も多く、次いで工学研究科であった。昨年度に比して大きく増加したのがコンサルテーションである。この結果は、本学教職員のこころの健康に対する認識の高まりを反映しているのではと推察される。

＜表１（A）＞平成 29 年度　心理相談の実数および延面接回数

区　分	実数（人）	延面接回数（回）
教育地域科学部	7	34
教育学部	3	9
教育学研究科	1	15
工学部	27	262
工学研究科	15	100
国際地域学部	1	1
非正規生	1	1
学生計	55	422

＜表１（B）＞学部別心理相談延数の推移

	教育地域科学部	教育学部	工学部	国際地域学部	教育学研究科	工学研究科	ｺﾝｻﾙﾃｰｼｮﾝ	その他	計
2001	52		78		0	23	14	0	167
2002	90		36		72	46	26	0	270
2003	100		176		63	34	99	0	472
2004	35		225		37	130	184	28	639
2005	119		175		21	150	160	35	660
2006	132		320		23	135	124	55	789
2007	214		391		16	55	166	90	932
2008	159		443		7	109	265	145	1,128
2009	189		450		0	149	237	176	1,201
2010	225		598		3	178	268	154	1,426
2011	243		514		17	192	315	132	1,413
2012	317		1,213		26	351	524	173	2,604
2013	308		1,113		71	305	560	29	2,386
2014	378		1,050		58	317	527	44	2,374
2015	254		836		43	321	411	98	1,963
2016	134	47	831	13	12	352	531	102	2,022
2017	111	38	921	22	21	296	756	21	2,186

※2012 年度からは学生総合相談室との合計数を記載

精神科的相談内容の内訳

表２に学生の相談内容の内訳を示す。学生総合相談室では学業・休退学に関する相談が最も多く、次いで自閉性スペクトラム、対人関係の順であった。一方、保健管理センターでは自閉症スペクト

ラムに関わる相談が最も多く、学業・休退学および精神がそれに続いた。この結果は、学生総合相談室では修学や人間関係などの実生活における問題が扱われるのに対し、保健管理センターでは精神医学的健康が問題として取り上げられることを示している。学生総合相談室と保健管理センターの双方でフォローされている学生も多く、それぞれの機能特性を生かした支援体制を反映しているものと思われる。

＜表２＞平成 29 年度　相談内容の分類（学生のみ）

区　分	修　学			適　応					発達	健　康		教　育		合　計	コンサルテーション	(件) 総計
	学業・休退学	ハラスメント	進路（職業）	性格・人生観	対人関係	性・恋愛	家庭問題	適応	自閉症スペクトラム	身体	精神	スーパーバイズ	健診呼出・その他			
保健管理ｾﾝﾀｰ（実数）	11	0	2	0	4	0	2	0	22	0	10	0	4	55	22	77
保健管理ｾﾝﾀｰ（延数）	89	0	17	0	44	0	3	0	210	0	52	0	7	422	80	502
学生総合相談室（実数）	67	0	17	0	42	0	8	0	31	1	21	0	32	219	125	344
学生総合相談室（延数）	312	0	33	0	164	0	48	0	310	4	102	0	35	1,008	676	1,684
総計（実数）	78	0	19	0	46	0	10	0	53	1	31	0	36	274	147	421
総計（延数）	401	0	50	0	208	0	51	0	520	4	154	0	42	1,430	756	2,186

問題点と今後の課題

青年期は激しい不安と混乱を孕んだ疾風怒涛の時期であり、多くの青年達はもがき苦しみながら人格的成熟を遂げる。心の健康はこの人格形成を行う上で極めて重要な要素となる。しかし、心の健康は身体的健康に比して自覚することが難しく、学生自身からの支援要請が難しいことが知られている。従って、“支援要請が困難である学生を如何に支援してゆくか”は保健管理センターにとっての大きな課題である。

保健管理センターおよび学生総合相談室では、質問紙調査を用いることで精神的問題を有する学生の把握と早期介入を試みている。実際に早期介入に繋がった例も多く、その有効性は明らかである。しかし、精神的問題は個々人において多様であり、また時間的動揺を有することから幅広いケースを想定した質問紙の作成は極めて重要である。上記を踏まえ、現在より精度の高い福井大学独自の質問紙調査システムの開発を進めている。

近年急増する留学生への精神衛生対策も急務である。留学生は異文化への適応困難から精神疾患を発症しやすいことが知られている。福井大学では留学生が安心して学業に専念できるよう、指導教員、チューター、国際センター・国際課教職員が連携してサポートを行っている。しかし、実際の現場においては文化・言語的な壁から留学生の支援要請は遅れることが多く、精神疾患の発症など､問題が大きく顕在化してからの対応となり､途中帰国を余儀なくされるケースを経験している。留学生の背景にある文化的背景を理解し、彼ら彼女らを取り巻く環境変化や精神医学的観点を含めた社会心理的状態像を縦断的に捉え、その適応過程に沿った支援体制の構築は留学生の精神衛生を推進する上で必要不可欠である。

イ．松岡キャンパス

松岡地区保健センターの 2017 年度の心理相談について報告する。
以下に、1）利用者数・相談回数、2）相談内容、3）課題と展望　の順に心理相談を概括する。

1）　利用者数・相談回数

表 1 は、保健センター相談室の利用者の実数および延べ相談回数を表したものである。

・相談回数：相談回数は昨年度（686 回）に比べ 638 回となり、減少した。昨年度は例年比で見ても特に相談回数が多かったこともあり、今年度は概ね本来の回数で落ち着いたように見える。
・学生利用者の実態について：学生の来談実数は 38 名であり、昨年度の 43 名からやや減少した。性別では、女性が 22 名、男性が 16 名であり、例年通り女性の方が多いが、例年に比べ実数に占める男性の割合が増加した。
・昨年度との変化：昨年度に比べ、全般的に実数・延べ相談回数とも減少したが、コンサルテーションとは別に教職員の相談や卒業・退学した“元”学生の相談が増加したのが今年度の特徴である。

表1　2017 度　心理相談の実数及び延べ相談回数

<table>
<tr><th colspan="2" rowspan="2">区　分</th><th colspan="3">実数【人】</th><th colspan="3">延べ相談回数【回】</th></tr>
<tr><th>女</th><th>男</th><th>計</th><th>女</th><th>男</th><th>計</th></tr>
<tr><td rowspan="8">学生</td><td>1 年</td><td>6</td><td>3</td><td>9</td><td>6</td><td>7</td><td>13</td></tr>
<tr><td>2 年</td><td>4</td><td>1</td><td>5</td><td>13</td><td>1</td><td>14</td></tr>
<tr><td>3 年</td><td>4</td><td>5</td><td>9</td><td>68</td><td>51</td><td>119</td></tr>
<tr><td>4 年</td><td>5</td><td>3</td><td>8</td><td>9</td><td>21</td><td>30</td></tr>
<tr><td>5 年</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>1</td><td>4</td><td>5</td></tr>
<tr><td>6 年</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>1</td><td>82</td><td>83</td></tr>
<tr><td>院生</td><td>1</td><td>0</td><td>1</td><td>71</td><td>0</td><td>71</td></tr>
<tr><td>学生計</td><td>22</td><td>16</td><td>38</td><td>169</td><td>166</td><td>335</td></tr>
<tr><td rowspan="2">コンサル
テーション</td><td>教職員</td><td>10</td><td>14</td><td>24</td><td>35</td><td>22</td><td>57</td></tr>
<tr><td>家族・
主治医</td><td>4</td><td>2</td><td>6</td><td>5</td><td>20</td><td>25</td></tr>
<tr><td colspan="2">教職員</td><td>13</td><td>4</td><td>17</td><td>97</td><td>71</td><td>168</td></tr>
<tr><td colspan="2">その他（卒業生等）</td><td>7</td><td>1</td><td>8</td><td>52</td><td>1</td><td>53</td></tr>
<tr><td colspan="2">学生以外計</td><td>34</td><td>21</td><td>55</td><td>137</td><td>94</td><td>303</td></tr>
<tr><td colspan="2">総　　計</td><td>56</td><td>37</td><td>93</td><td>306</td><td>260</td><td>638</td></tr>
</table>

※電話及びメールの相談も含む。

表２は、松岡キャンパスの学生の延べ相談回数を月別、相談窓口別に表したものである。

・保健センター：5 月～6 月と 12 月に相談のピークがある。
・学生総合相談室：4 月～5 月、11 月～12 月、3 月に相談のピークがある。夏季休暇の始まる前後の 8 月にも一定数の相談がある。

表2　2017 年度 松岡キャンパスの延べ相談回数（学生のみ）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
保セ	34	41	45	28	13	28	27	23	31	25	15	25	335
学相	43	38	33	29	23	18	26	41	34	22	14	32	353

※保セ：保健センター、学相：学生総合相談室

２）　相談内容（学生)
表３は、学生の相談内容の分類である。実数、延べ相談回数、相談窓口別に表した。

・昨年度との比較
昨年度と比べ、延べ相談回数は「学業・休退学」が大幅に減少し、「性格・人生観」が増加した。「精神」、「対人関係」は例年通りである。「ハラスメント」の実数は昨年度より減ったものの、延べ相談回数は多い。5 月に実施した健康診断時の問診票による「問診票呼び出し」で継続となるケースが複数あり、延べ相談回数が増加した。

表3　2017 年度 相談内容分類（学生のみ）

区分		修学			適応					発達	健康		教育		計
		学業・休退学	ハラスメント	進路・（職業）	性格・人生観	対人関係	性・恋愛	家庭問題	適応	自閉症スペクトラム等	身体	精神	入学時検査	問診票呼出し	
実数【人】	保セ	2	1	0	1	5	4	2	0	0	0	5	7	11	38
	学相	12	0	0	15	9	5	2	0	1	1	6	8	0	59
計		14	1	0	16	14	9	4	0	1	1	11	15	11	97
延べ数【回】	保セ	4	71	0	81	35	46	3	0	0	0	50	7	38	335
	学相	45	0	0	138	29	21	2	0	2	1	106	9	0	353
計		49	71	0	219	64	67	5	0	2	1	156	16	49	668

３） 課題と展望

・学籍を離れた元学生への対応

利用者・相談回数の「昨年度との変化」でも述べたように、今年度の特徴として、卒業・退学した“元”学生の相談が増加したことが挙げられる。医学部の場合、成績不振のため進級できずに退学せざるを得ない場合があり、本人の次の進路が決まらないまま退学することも間々ある。今年度はそのような学生や、希望する進路へ変更が叶ったものの新しい大学に適応するまでのフォローが必要だった学生の相談があった。しかも、複数のケースにおいて、一度の相談ではなく継続的な相談となった。

学生相談としての援助活動の大きな特徴は、その期間が卒業までと明確に定められている点である[1)]。しかし、現実には、大学の籍を離れた後にも相談を受けることがある。退学や卒業のように離籍した後に相談を受けることについて、離籍までに内面の整理が行われず、離籍後にそれを手伝ってくれる第三者を見つけられなかった場合に、元の大学の相談機関を利用する可能性が指摘されている[2)]。しかし、その“第三者”である相談機関や相談窓口を元学生に紹介しても、そちらに繋がることを躊躇し、既に安定した関係を築き馴染んでいるカウンセラーとの間に再び相談を持ち込んでしまうのである。

離籍後のフォローについては、元学生が大学を離れ新しい環境へ向かう「移行期」ととらえ、これまでの問題を整理し、次の課題に向かう準備を整えることを目標にした。しかし、移行期は、重要な心理的テーマが混在している。学生生活が終わったという喪失体験、大学やカウンセラーからの分離と自立、新しい環境への適応などである。今そこで体験している感情を受容し、元学生がきちんと自分を見つめて言語化していくことを促し見守った。その中で分離と自立のテーマを乗り越え、新しい環境へ徐々に溶け込んでいくことができたといえる。

離籍後のかかわりは、長期に及ぶと元学生の自立や心理発達的成長を阻むことがあることを考慮しなければならない。本年度のいくつかのケースにおいては、一定期間の離籍後のフォローは積極的な意味合いがあり意義はあったといえる。元学生の在籍時のカウンセリング経過やパーソナリティを見極め、離籍後半年～1 年間までと期間限定でフォローするのが限界であり、妥当であろうと思われる。

1)鶴田和美 2001 学生のための心理相談. 培風館

2)田名場美雪 2011 卒業後の相談事例の検討. 弘前大学保健管理概要, 32, 5-14.

４．平成 29 年度障がいのある学生及び教職員のための相談室利用状況

障がいのある学生及び教職員のための相談室は、全学的な障がい学生及び教職員支援の専門部署として平成 28 年 4 月に開設された。障がい学生及び教職員のための相談室では、病気・負傷や障がい等があることを理由として、修学や大学生活上での悩みごとや困りごとがある学生やその関係者から入学前、入学後それぞれの段階で相談を受け、特別な支援や配慮が必要と判断された場合に、学部学科教職員や授業担当者などと連携しつつ支援を行っている。これまでも保健管理センターと学生総合相談室とが連携し、障がいのある学生への対応はなされてきたが、よりきめ細やかな支援を行うために平成 29 年度より学内支援体制整備が進められた。

１）合理的配慮に関する申請者数

平成 29 年度の合理的配慮に関する申請者数は 9 人（実数）であった。申請内容に対する申請者数は表 1 の通りである。

（なお、合理的配慮に関する申請者の実数、延面接回数、相談内容は、前述の保健管理センターと学生総合相談室におけるそれぞれの数値に記載。）

表1　平成 29 年度　合理的配慮申請内容分類

合理的配慮申請内容	申請者数（延数）
授業における配慮	6
課題提出における配慮	2
研究指導における配慮	2
合計	10

２）全学的な障がい学生支援体制の整備

これまで、保健管理センターと学生総合相談室を中心に行ってきた障がいのある学生に対する支援を、障がいのある学生及び教職員のための相談室で中心的に行っていく体制が平成 29 年度末に整えられた。具体的には、障がいのある学生及び教職員のための相談室にて、入学時に修学上の配慮に関わる申請のあった学生や、修学や大学生活上での悩みごとや困りごとがある学生がスタッフとともに合理的配慮申請書を作成するところから始まり、次に学部・研究科にて合理的配慮について検討がなされ、最終的に合理的配慮決定通知書が学生のもとに届けられるという、合理的配慮提供までのプロセスが明確化された。

３）総務省近畿管区行政局「障がいのある学生等に対する大学の支援に関する調査」

平成 29 年 8 月 22 日、文京キャンパスにて、近畿管区内の国立大学法人における障がいのある学生等に対する取組の実態把握を目的とした調査が行われた。総務省の調査官 5 名が来学した。本学では、障がいのある学生及び教職員のための相談室（後藤）、総務部長・課長、施設企画課長、学生サービス課長・課長補佐・関係職員が対応した。

日時：平成 29 年 8 月 22 日（ヒアリング）、平成 29 年 8 月 31 日（バリアフリー現地調査）
指摘事項：①バリアフリー環境の整備促進

②障がい学生の受入実績の公表
③全学ホームページのアクセスビリティ改善
④入学試験における配慮に関する明確な情報提供
⑤合理的配慮の通知方法の改善
⑥修学支援に係るホームページでの情報提供

改善事項：①点字ブロックの施設、肢体不自由の学生が押しやすいナースコールの設置、講義棟 1 階の案内図近くに内線電話を設置するとともに電話番号などの点字表記を追加、講義棟１階の教室表示を手の届く高さに設置するとともに浮き出し文字表記を使用、トイレの出入り口に点字表記の案内設置、エレベーターに全体の姿が見える長さの鏡の設置などを行い改善された。
②「障がいのある学生への支援」というホームページを新たに作成し、そのトップページで障がい学生数が公表された（https://www.u-fukui.ac.jp/cont_life/confer/support/)。
③全学ホームページについて、アクセスビリティが改善された。
④入学試験における配慮に関する明確な情報を提供するように改善された。
⑤全学的な障がい学生支援体制の整備が進められる中で、最終的に合理的配慮決定通知書が学生のもとに届けられるという、合理的配慮提供までのプロセスを明確化した。
⑥「障がいのある学生への支援」というホームページが新たに作成され、「修学上の配慮を希望するみなさんへ」、「相談から配慮決定までの流れ」、「支援者である、教職員のみなさんへ」、「SGS（障がい学生サポーター）のご案内」、「福井大学への入学を考えている、みなさんへ」というトピックごとのページに具体的な内容が盛り込まれた。

４）障がい学生サポーターの募集・養成

障がいのある学生への個別支援､障がいのある学生支援に関するパンフレットの作成等のために、学生サポーター（SA: Student Assistant）の募集・養成を行った。

① 登録人数
６名

②活動内容
・授業場面における手書きノートテイク、パソコンテイクの練習
・視覚障がい者、車椅子利用者の介助
・障がいのある学生支援に関するパンフレットの作成
・大学内の一部キャンパスのバリアフリー環境調査

５）予防教育・広報活動

①予防教育
・前期全学共通教育科目「こころの成長Ⅰ」、後期全学共通教育科目「こころの成長Ⅱ」にて、精神障がい、発達障がい、身体障がい、障がい学生支援について講義を行う（高橋・後藤)。
・後期全学共通教育科目「人間の科学特別演習Ｃ（障害児)」にて、障がい学生の理解と支援について講義を行う（後藤)。

②広報活動

以下の FD・SD 研修会を保健管理センターと学生総合相談室、各学部研究科 FD 委員会で共同開催した。

・教育学部・教育学研究科 FD 研修会「障がい学生支援のこれから」(後藤)
平成 29 年 7 月 14 日開催　出席者 55 名
・工学部、工学研究科 FD 研修会「障がい学生支援のこれから」(後藤)

平成 29 年 7 月 14 日開催　出席者 114 名

・国際地域学部 FD 研修会「障がい学生支援のこれから」（後藤）
平成 29 年 7 月 14 日開催　出席者 21 名

・教育学部・教育学研究科 FD+SD 研修会「大学における同僚性を考える」（高橋・後藤）
平成 29 年 9 月 22 日開催　出席者 33 名

・工学部・工学研究科 FD 研修会「発達障害学生の理解：大人の発達障害特性の捉え方」（高橋）
平成 29 年 11 月 10 日開催　出席者 114 名

・学務部教職員及び新規採用職員 SD 研修会「学生支援～発達障害学生のこれから～」
（学生総合相談室　諸江）平成 29 年 9 月 25 日、27 日開催　出席者 39 名

６）今後の課題

現在、在籍している学生やその保護者、本学への入学を検討する高校生やその保護者及び高等学校等の教員への情報提供の機会が必要である。ホームページやパンフレットなどを作成し、広報媒体の充実が求められる。

平成 29 年度より全学的な支援体制が整備されたとはいえ、まだ始まったばかりである。合理的配慮提供までの具体的プロセスを FD や SD を通して、全学的な障がいのある学生支援への理解を高める必要がある。

Ⅳ 研究・業績報告、資料集

１．研究・業績報告

【浦崎教授】

論文

１．R-CHOP 療法が有効であった寒冷凝集素症に合併した B 細胞リンパ腫
大岩　加奈，岸　慎治，海老田　ゆみえ，松田　安史，田居　克規，浦崎　芳正，
大越　忠和，今村　好章，山内　高弘
日本輸血細胞治療学会誌 63(4) 607-613 2017 年 9 月

学会

１．輸血製剤の投与中に輸液ルート内にひも状構造物を認めた一症例
松田　安史，坂井　晴香，増永　志穂，海老田　ゆみえ，小林　洋子，山内　高弘，
大岩　加奈，大藏　美幸，森田　美穂子，浦崎　芳正，岩崎　博道，鈴木　孝二，
松原　美紀，豊岡　重剛
第 65 回日本輸血・細胞治療学会総会 2017 年 6 月

２．当院輸血部におけるアルブミン製剤一元管理後の使用状況
海老田　ゆみえ，坂井　晴香，増永　志穂，小林　洋子，大岩　可奈，松田　安史，
浦崎　芳正，岩崎　博道，山内　高弘
第 65 回日本輸血・細胞治療学会総会 2017 年 6 月

３．高齢者急性骨髄性白血病における寛解導入療法の強度が予後に及ぼす影響についての検討
藤田　慧，細野　奈穂子，大岩　加奈，伊藤　和広，李　心，多崎　俊樹，森田　美穂子，
大蔵　美幸，根来　英樹，松田　安史，田居　克規，浦崎　芳正，上田　孝典，山内　高弘
第 55 回日本癌治療学会学術集会 2017 年 10 月

４．再発・難治性非ホジキンリンパ腫患者に対する plerixafor の使用経験について
松田　安史，坂井　晴香，海老田　ゆみえ，増永　志穂，小林　洋子，大岩　加奈，
李　心，大蔵　美幸，浦崎　芳正，山内　高弘
第 35 回日本輸血・細胞治療学会北陸支部例会 2017 年 11 月

５．RhD 陰性患者への RhD 陽性赤血球輸血を経験して
増永　志穂，小林　洋子，海老田　ゆみえ，坂井　晴香，大岩　加奈，松田　安史，
山内　高弘，浦崎　芳正
第 35 回日本輸血・細胞治療学会北陸支部例会 2017 年 11 月

６．肺胞蛋白症をきたした骨髄異形成症候群の 1 例
松田　安史，辻　慶明，垣鍔　陽央，佐藤　譲之，早稲田　優子，安斎　正樹，田居　克規，
細野　奈穂子，石塚　全，浦崎　芳正，山内　高弘
第 234 回日本内科学会北陸地方会 2018 年 3 月

座長

１．第 65 回日本輸血・細胞治療学会総会　2017 年 06 月

その他

１．障がい学生支援講演会とワークショップ
閉会のことば　2017 年 8 月

２．平成 29 年度工学部支援室業務研修
健康について　2018 年 1 月

【高橋准教授】

学術論文（原著）

1. Yoshimura Y, Kikuchi M, Hayashi N, Hiraishi H, Hasegawa C, Takahashi T, Oi M, Remijn GB, Ikeda T, Saito DN, Kumazaki H, Minabe Y. Altered human voice processing in the frontal cortex and a developmental language delay in 3- to 5-year-old children with autism spectrum disorder. ***Sci Rep.*** 2017;7(1):17116. doi: 10.1038/s41598-017-17058-x

2. Fukai M, Hirosawa T, Kikuchi M, Ouchi Y, Takahashi T, Yoshimura Y, Miyagishi Y, Kosaka H, Yokokura M, Yoshikawa E, Bunai T, Minabe Y. Oxytocin effects on emotional response to others' faces via serotonin system in autism: A pilot study. ***Psychiatry Res.*** 2017;267:45-50. doi: 10.1016/j.pscychresns.2017.06.015.

3. Takahashi T, Yamanishi T, Nobukawa S, Kasakawa S, Yoshimura Y, Hiraishi H, Hasegawa C, Ikeda T, Hirosawa T, Munesue T, Higashida H, Minabe Y, Kikuchi M. Band-specific atypical functional connectivity pattern in childhood autism spectrum disorder. ***Clin Neurophysiol.*** 2017;128(8):1457-1465. doi: 10.1016/j.clinph.2017.05.010.

4. Kikuchi M, Takahashi T, Hirosawa T, Oboshi Y, Yoshikawa E, Minabe Y, Ouchi Y. The lateral occipito-temporal cortex is involved in the mental manipulation of body part imagery. ***Front Hum Neurosci.*** 2017;11:181. doi: 10.3389/fnhum.2017.00181.

5. Hirosawa T, Kikuchi M, Ouchi Y, Takahashi T, Yoshimura Y, Kosaka H, Furutani N, Hiraishi H, Fukai M, Yokokura M, Yoshikawa E, Bunai T, Minabe Y. A pilot study of serotonergic modulation after long-term administration of oxytocin in autism spectrum disorder. ***Autism Res.*** 2017;10(5):821-828. doi: 10.1002/aur.1761.

6. FukaiM, Hirosawa T, Takahashi T. Kaneda R, Kikuchi M, Minabe Y. Clonazepam improves dopamine supersensitivity in a schizophrenia patient: a case report. ***Ther Adv Psychopharmacol.*** 2017;7:113-117. doi: 10.1177/2045125316681750.

7. Goto T, Kato M, Matsumura Y, Omata N, Yoshida M, Watanabe K, Takahashi T, Higashima M, Wada Y. Scopolamine ointment for clozapine-associated sialorrhea: a case report. ***J Clin Psychopharmacol.*** 2017:37(1):106-107. doi: 10.1097/JCP.0000000000000613

発表

1. Dynamical brain: how brain complexity changes with aging and mental illness? Tetsuya Takahashi
   World Psychiatric Association's International Congress of Psychiatry　（symposiast）2017年06月
2. The Emerging Field of E/MEG Analyses on Neural Network -Complexity and Connectivity- Germany-Hong Kong joint workshop at the Hong Kong Baptist University. （Invited speaker）2017年08月

研究助成金

1. 科学研究費補助金基盤研究（C）（一般）
   神経ネットワーク障害仮設に着目した自閉性障害におけるオキシトシン作用機序の解明
   （研究代表者　高橋哲也）

2. 福井県内大学等連携研究推進事業補助金
   超高齢社会におけるせん妄の予防および治療体制の構築
   （研究代表者　高橋哲也）

3. 科学研究費補助金基盤研究（C）（一般）
   デフォルトモードネットワークにおける BMI の応用に向けた脳波特性の研究
   （研究分担者　高橋哲也）

4. 科学研究費補助金基盤研究（C）（一般）
   精神疾患と創造性：神経ネットワーク理論に基づく神経基盤の解明
   （研究分担者　高橋哲也）

5. 科学研究費補助金基盤研究（C）（一般）
   一般医学的評価に基づく自閉症児のきょうだい支援システムの構築
   （研究分担者　高橋哲也）

6. 科学研究費補助金基盤研究（C）（一般）
   一般神経ネットワークに着目した電気けいれん療法の作用機序の解明-脳波の非線形解析-
   （研究分担者　高橋哲也）

7. 科学研究費補助金特別推進研究
   神経ダイナミクスから社会的相互作用に至る過程の理解と構築による構成的発達科学
   （研究分担者　高橋哲也）

8. センター・オブ・イノベーション（COI）プログラム
   COI 拠点「人間力活性化によるスーパー日本人の育成拠点」
   （研究分担者　高橋哲也）

【栗田講師】

学会

1．前川伸晃・栗田智未・安岡恵子・諸江理映子：「ウェブサイトを用いた学生相談室広報の意義―Google Analyticsによるホームページアクセス分析の検討―」日本学生相談学会第35回大会　於　中部大学・サイプレスガーデンホテル　2017.5.20-22.
2．栗田智未・三嶋一輝・南部千代恵・百田亜紀子・亀井絵理奈・田居克規・岩崎博道：「長期療養を多職種のチームで支える一事例」　平成29年度北陸HIV臨床談話会　於　福井大学附属病院　2017.7.29.
3．前川伸晃・安倍博・坂井豊彦・栗田智未・高橋哲也：「医学科学生の睡眠・概日リズム特性・メンタルヘルスと学業成績の関連」第49回日本医学教育学会大会　於　札幌コンベンションセンター　2017.8.18-19.
4．内野悌司・栗田智未・小島奈々恵・黄正国：「学生が困っていること及び関連する心理学的要因（１）－総合的な結果について－」日本心理臨床学会第36回大会　於　パシフィコ横浜　2017.11.18-21.
5．黄正国・内野悌司・栗田智未・小島奈々恵：「学生が困っていること及び関連する心理学的要因（２）－日本人学生のイントラパーソナルな問題について－」日本心理臨床学会第36回大会　於　パシフィコ横浜　2017.11.18-21.
6．栗田智未・内野悌司・小島奈々恵・黄正国：「学生が困っていること及び関連する心理学的要因（３）－日本人学生のインターパーソナルな問題について－」日本心理臨床学会第36回大会　於　パシフィコ横浜　2017.11.18-21.
7．小島奈々恵・内野悌司・栗田智未・黄正国：「学生が困っていること及び関連する心理学的要因（４）－外国人留学生の問題について－」日本心理臨床学会第36回大会　於　パシフィコ横浜　2017.11.18-21.
8．北山富士子　・片山寛次・玉川美津恵・前川伸晃・栗田智未：「新入生に食生活に関する講義とアンケートを実施して」　第55回全国大学保健管理研究集会　於　大阪国際会議場（琉球大学）2017.11.29-30.
9．片山寛次・北山富士子・玉川美津恵・前川伸晃・栗田智未：「低体重、高体重学生に対する栄養指導の試み」第55回全国大学保健管理研究集会　於　沖縄コンベンションセンター（琉球大学）2017.11.29-30.
10．栗田智未・三嶋一輝・南部千代恵・百田亜紀子・亀井絵理奈・田居克規・岩崎博道：「進行性多巣性白質脳症を合併したAIDS患者とその家族を支える事例」 HIV/AIDS症例検討会　於　石川県立中央病院　2018.2.4.

論文・報告書等

（報告書）

1．栗田智未，前川伸晃，髙橋哲也，岡崎玲子，玉川美津恵，片山寛次：「A大学医学部看護学科生の留年・休退学の特徴」．CAMPUS HEALTH,54,1,412-414,2017.
2．片山寛次，北山富士子，玉川美津恵，前川伸晃，栗田智未：「福井大学医学部おける、新入生ガイダンスと研修における新たな試み」．CAMPUS HEALTH,54,1,228-229,2017.
3．北山富士子，片山寛次，玉川美津恵，前川伸晃，栗田智未：「新入生に「食と体の健康」をテーマとした講義を行って」．CAMPUS HEALTH,54,1,214-215,2017.
4．岡崎玲子，髙橋哲也，栗田智未，前川伸晃，和田有司：「医学生における気質の変遷―UPIの推移による検討―」．CAMPUS HEALTH,54,1,415-416,2017.

5．内野悌司・栗田智未・小島奈々恵・黄正国：「学生が困っていること及び関連する心理学的要因（１）－総合的な結果についてー」日本心理臨床学会第 36 回大会発表論文集, 441, 2017.
6．黄正国・内野悌司・栗田智未・小島奈々恵：「学生が困っていること及び関連する心理学的要因（２）－日本人学生のイントラパーソナルな問題についてー」日本心理臨床学会第 36 回大会発表論文集, 442, 2017.
7．栗田智未・内野悌司・小島奈々恵・黄正国：「学生が困っていること及び関連する心理学的要因（３）－日本人学生のインターパーソナルな問題についてー」日本心理臨床学会第 36 回大会発表論文集, 443, 2017.
8．小島奈々恵・内野悌司・栗田智未・黄正国：「学生が困っていること及び関連する心理学的要因（４）－外国人留学生の問題についてー」日本心理臨床学会第 36 回大会発表論文集, 444, 2017.

（論文）

1．栗田智未・前川伸晃：「A 大学医学部学生の留年・休退学の特徴　―大学精神健康調査 UPI の結果から―」．総合保健科学（広島大学保健管理センター紀要）33, 25-32.（2017）

【後藤特命講師】

論文（原著）

1．後藤綾文（2018）．大学生の多様なサポート源への援助要請――サポート源への選択タイプに着目して――　東海心理学研究，*12*，37-46.
2．後藤綾文・南　学（2017）．小学校における組織的な児童理解及び新しい教育相談体制に関するモデル研究　三重大学教育学部研究紀要，*69*，121-127.
3．後藤綾文・瀬戸美奈子（2017）．家庭・学校・地域で連携したいじめ予防活動の推進　三重大学教育学部研究紀要，*69*，453-459.

学会発表

1． Ayafumi G. (2017). The difficulties of help-seeking by bystanders from teachers for bullying. *European Conference on Developmental Psychology 2017 -Abstract-book-V2.*, 550.

２．資料集

ア．福井大学保健管理センター規程

平成 16 年４月１日
福大規程第 48 号

（趣旨）

第１条　この規程は，福井大学学則（平成 16 年福大学則第１号）第９条２項の規定に基づき，福井大学保健管理センター（以下「センター」という。）の組織及び運営に関し必要な事項を定める。

（目的）

第２条　センターは，福井大学（以下「本学」という。）の保健管理に関する専門的業務を行い，学生及び教職員の心身の健康の保持増進を図ることを目的とする。

（業務）

第３条　センターは，前条の目的を達成するため，次の各号に掲げる業務を行う。

（1）定期及び臨時の健康診断
（2）健康診断の事後措置等健康の保持増進についての必要な指導
（3）精神的，身体的健康相談
（4）障害者基本法（昭和 45 年法律第 84 号）第 2 条第 1 号に規定する障害者に加えて，慢性疾患，がん疾患を含めた障がいに関する指導援助
（5）環境衛生及び伝染病の予防についての指導援助
（6）保健管理計画の立案についての指導援助
（7）保健管理の充実向上のための調査研究
（8）その他健康の保持増進について必要な専門的業務

（職員）

第４条　センターに次の各号に掲げる職員を置く。

（1）保健管理センター所長（以下「所長」という。）
（2）副所長　２名以内
（3）専任教員
（4）技術職員
（5）その他必要な職員

２　所長，副所長及び専任教員の選考に関する必要な事項は，別に定める。

（職務）

第５条　所長は，センターの業務を掌理する。

２　副所長は，所長の職務を補佐し，所長に事故があるときは，その職務を代行する。

３　専任教員は，センターの業務を処理する。

４　技術職員及びその他の職員は，センターの業務に従事する。

（松岡地区保健センター）

第６条　センターに，松岡地区保健センターを置き，第３条に規定する業務を分掌する。

（障がいのある学生及び教職員のための相談室）

第６条の２　第３条第４号に係る学生及び教職員の支援，各種相談等に対応するため，センターに障がいのある学生及び教職員のための相談室（以下「相談室」という。）を置く。

２　相談室に関し必要な事項は，別に定める。

（運営委員会）

第７条　センターの円滑な運営を図るため，福井大学保健管理センター運営委員会（以下「運営委員会」という。）を置く。

２　運営委員会に関し必要な事項は，別に定める。

（庶務）

第８条　センターに関する事務は，学務部学生サービス課で処理する。

（雑則）

第９条　この規程に定めるもののほか，センターに関し必要な事項は別に定める。

附　則

この規程は，平成 16 年４月１日から施行する。

附　則（平成 21 年５月 20 日福大規程第 54 号）

１　この規程は，平成 21 年５月 20 日から施行する。

２　この規程の施行後,最初に任命される副所長の任期は,福井大学教育研究施設等の長の選考に関する規程の規定にかかわらず,平成 23 年３月 31 日までとする。

附　則（平成 22 年 4 月 23 日福大規程第 50 号）

この規程は，平成 22 年 4 月 23 日から施行し，改正後の規定は，平成 22 年 4 月 1 日から適用する。

附　則（平成 28 年２月５日福大規程第５号）

この規定は，平成 28 年４月１日から施行する。

イ．保健管理センタースタッフ

平成 29 年度

（文京・敦賀地区）

所　　長	上　田　孝　典	
副 所 長	浦　崎　芳　正	（内科医，産業医）
准 教 授	高　橋　哲　也	（精神科医）
特命講師	後　藤　綾　文	（臨床心理士）
看 護 師	宮　本　笑美子	
看 護 師	三　好　啓　子	（学生サービス課）
看 護 師	松　本　恵　子	（学生サービス課）
保 健 師	瀬　谷　優　子	（人事労務課）
学 校 医	品　川　明　子	（婦人科相談）

（松岡地区）

副 所 長	片　山　寛　次	（外科医）
講　　師	栗　田　智　未	（臨床心理士）
看 護 師	玉　川　美津恵	
保 健 師	西　川　恵理子	（人事労務課）
保 健 師	森　　　雅　美	（人事労務課）
保 健 師	尾　田　幸　子	（人事労務課）
学 校 医	伊　藤　有紀子	（内科相談）
学 校 医	山　田　直　樹	（内科相談）
学 校 医	松　村　由紀子	（精神科相談）
学 校 医	宮　崎　　　剛	（整形外科相談）
学 校 医	知　野　陽　子	（婦人科相談）
学 校 医	吉　村　仁　志	（歯科口腔外科相談）